

流山市こどもの生活状況に関する実態調査 報告書【概要版】(案)

調査の概要

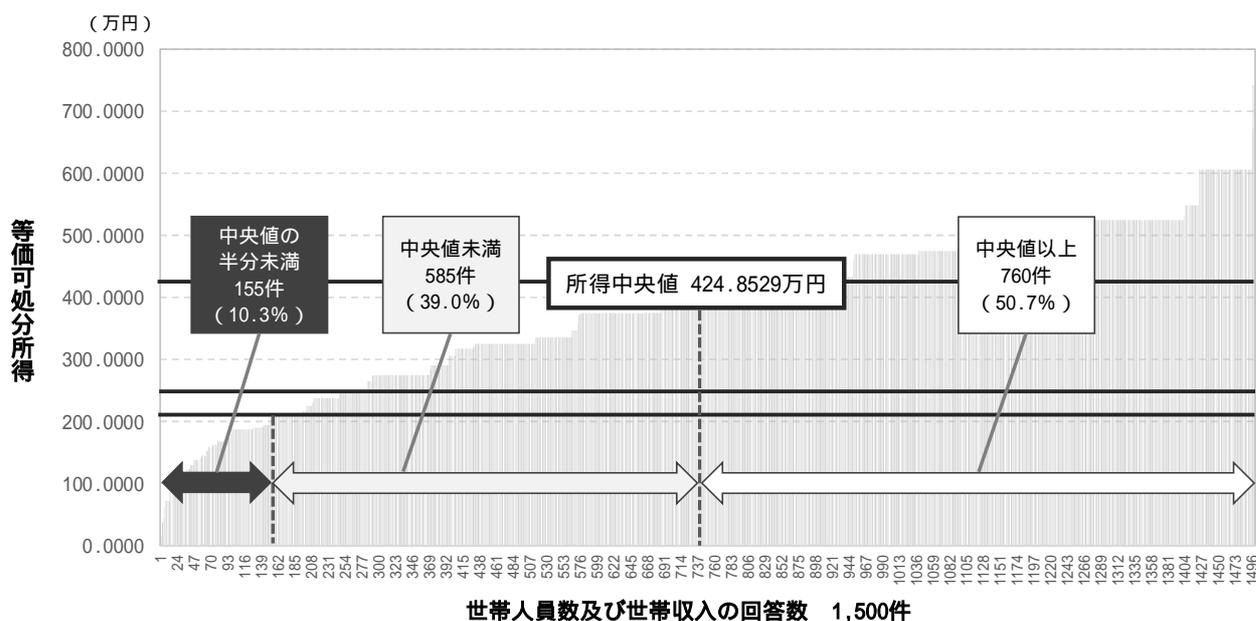
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 本市に在住する市立全小学校5年生 2,000件 本市に在住する市立全中学校2年生 1,640件 本市に在住する市立全小学校5年生及び全中学校2年生の保護者 3,640件
実施期間	令和5年11月～12月
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生、中学校2年生 学校を通じて周知、オンライン回答 保護者 スキットメール(学校からの保護者への連絡メール)で周知、オンライン回答
回答結果	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生 有効回答数1,771件 有効回答率88.6% 中学校2年生 有効回答数1,558件 有効回答率95.0% 保護者 有効回答数1,609件 有効回答率44.2%

分析内容の設定

この概要版では、保護者の世帯人員数及び世帯収入の回答結果により「相対的貧困率」を判定し、一定基準(所得中央値)を下回る層に属する回答者とそれ以外の回答者で区分をして結果を示しているものがあります。

(参考)相対的貧困率の算出方法

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得(世帯の可処分所得(収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入)を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分(貧困線)に満たない世帯を「相対的貧困層」としています。



調査結果内の参考資料

【全国・中学生】

- 令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書(令和3年度 内閣府政策統括官(政策調整担当))
対象: 中学2年生及び保護者

【県・小学生及び中学生】

- 千葉県こどもの生活実態調査報告書(令和元年度) 対象: 小学5年生・中学2年生及び保護者

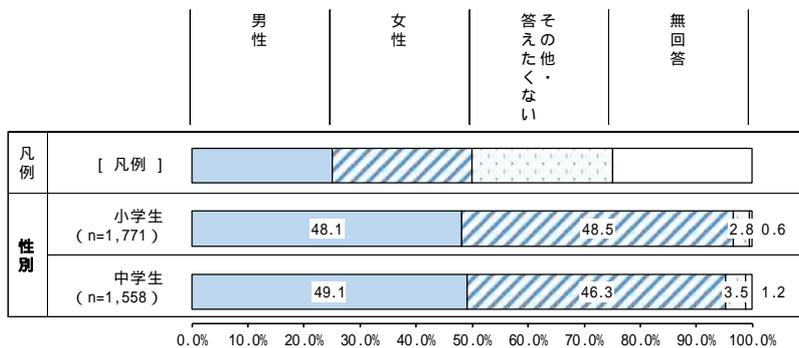
【5. 家族の世話について】

- ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書(令和2年度 厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業) 対象: 中学2年生・全日制高校2年生・定時制高校2年生・通信制高校在籍者
- ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究報告書(令和4年度 千葉県) 対象: 小学6年生・中学2年生・高校2年生

【小学生・中学生】

1. 回答者の属性

【回答者の性別】(小学生 問1・中学生 問1)

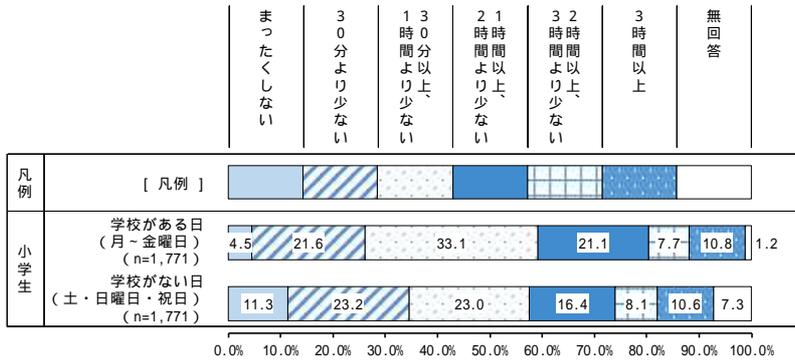


小学生では女性が48.5%で男性の48.1%を上回っています。中学生では、男性が49.1%で女性の46.3%を上回っています。

2. 学校生活・勉強・進学について

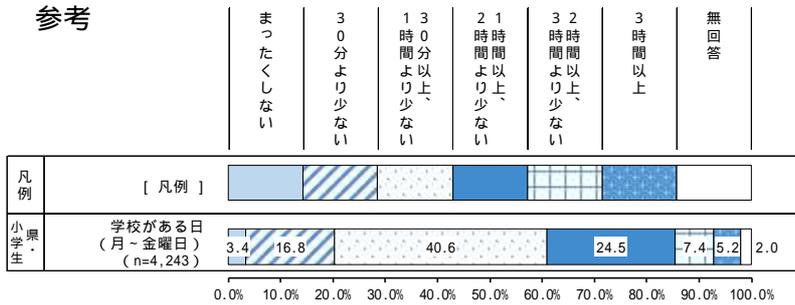
(1) 勉強時間、授業内容の理解

【勉強時間】(小学生 問3)

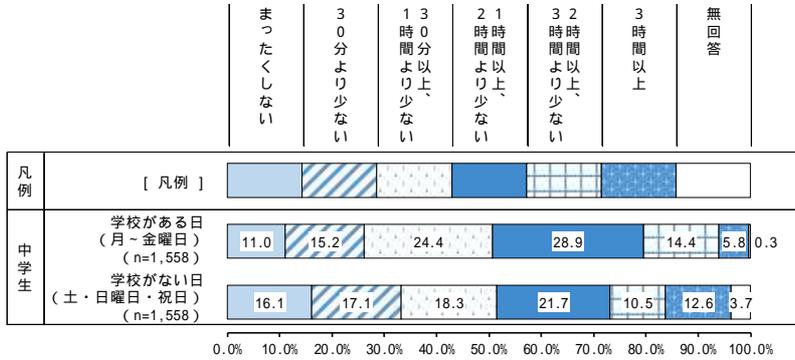


小学生について、学校がある日は「30分以上、1時間より少ない」が最も高く、1時間未満が59.2%となっています。学校がない日は「30分より少ない」が最も高く、1時間未満が57.5%となっています。

参考

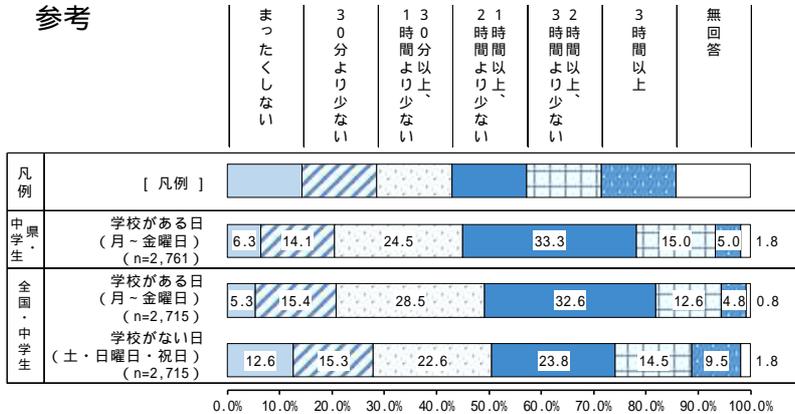


【勉強時間】(中学生 問3)

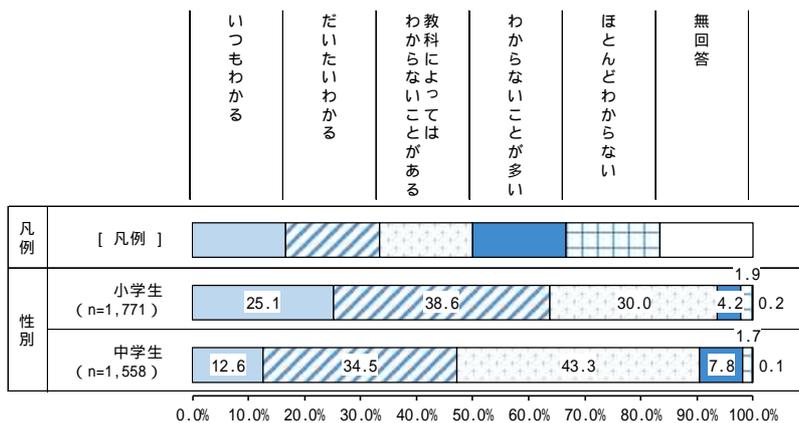


中学生について、学校がある日は「1時間以上、2時間より少ない」が最も高く、1時間未満が50.6%となっています。学校がない日は、「まったくしない」が16.1%、「3時間以上」が12.6%と、いずれも学校のある日に比べて高くなっています。

参考

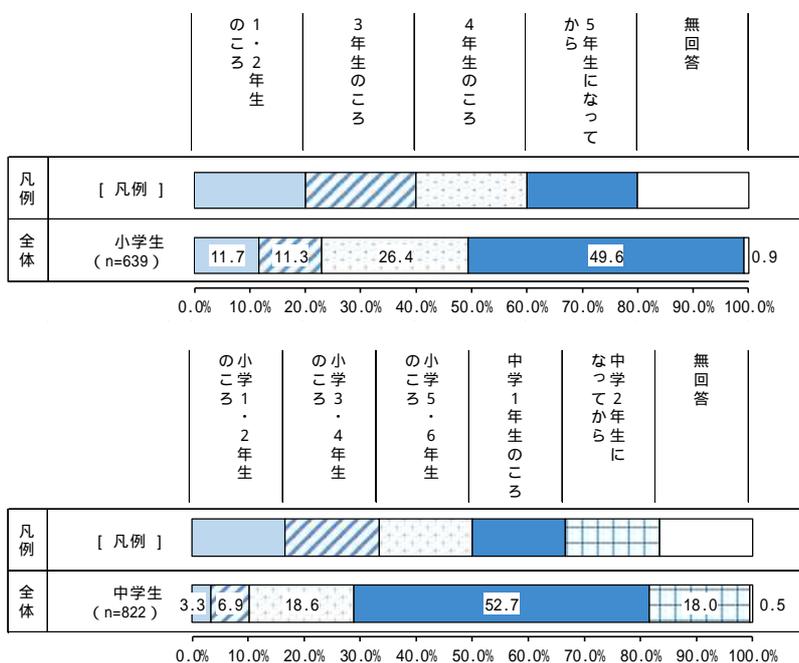


【授業内容の理解】(小学生 問5、中学生 問5)



小学生では「だいたいわかる」が最も高く、中学生では「教科によつてはわからないことがある」が最も高くなっています。

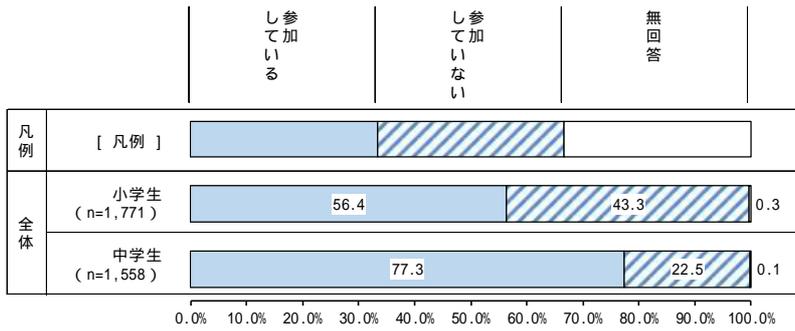
【授業がわからなくなった時期】(小学生 問6、中学生 問6)



小学生では「5年生になってから」が最も高くなっています。中学生では「中学1年生のころ」が最も高くなっています。

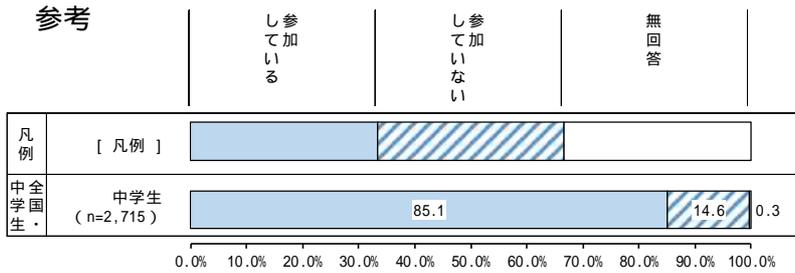
(2) スポーツクラブ、部活動への参加

【スポーツクラブ、部活動への参加】 (小学生 問9、中学生 問9)

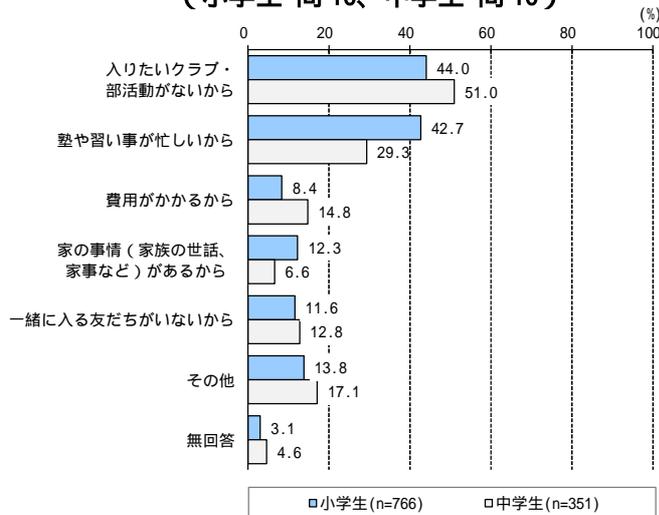


参加しているのは、小学生が56.4%、中学生が77.3%となっています。

参考



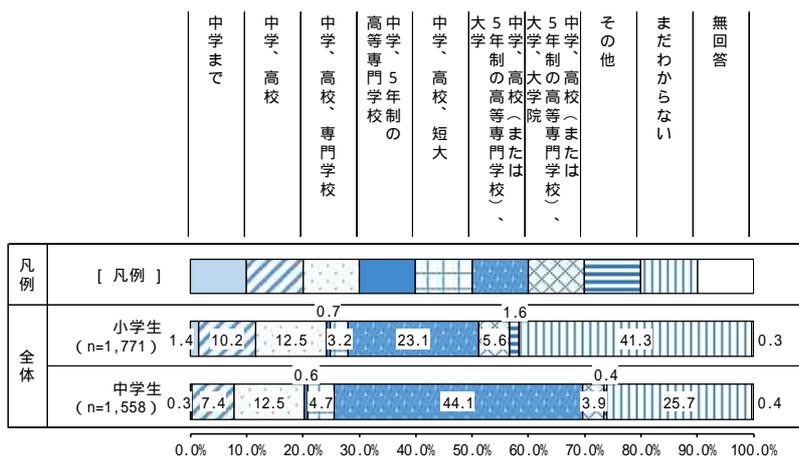
【スポーツクラブ、部活動に参加していない理由】 (小学生 問10、中学生 問10)



参加していない理由は、小学生・中学生ともに「入りたいクラブ・部活動がないから」が最も高くなっています。また、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」は、小学生で12.3%、中学生で6.6%となっています。

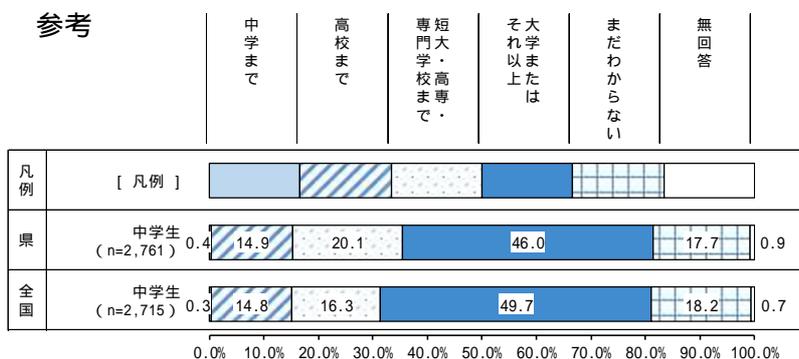
(3) 将来の進学先の希望

【将来の進学先の希望】(小学生 問7、中学生 問7)

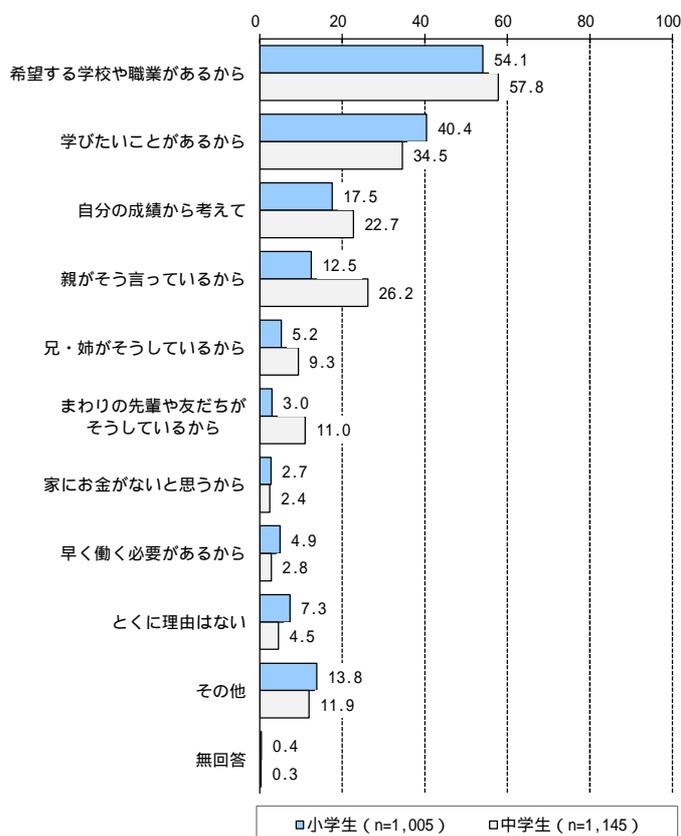


小学生、中学生ともに「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が最も高くなっています。

参考



【希望する理由】複数回答 (小学生 問8、中学生 問8) (%)

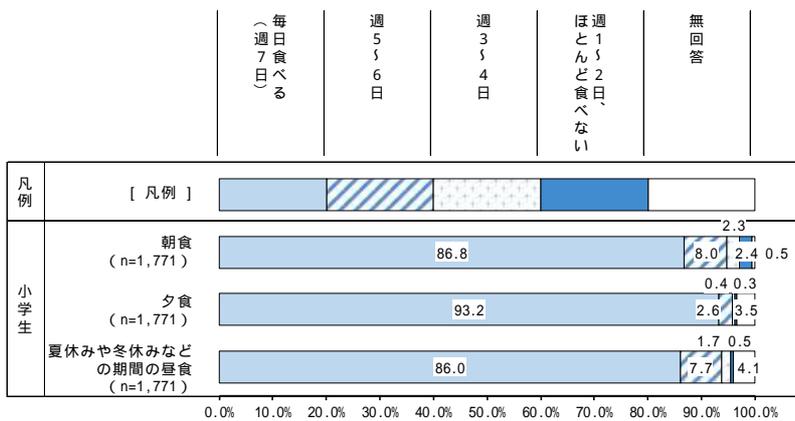


進学先を希望する理由について、小学生、中学生ともに「希望する学校や職業があるから」が最も高く、次いで「学びたいことがあるから」となっています。中学生では「親がそう言っているから」「自分の成績から考えて」が20%を超えています。

3. 家庭生活について

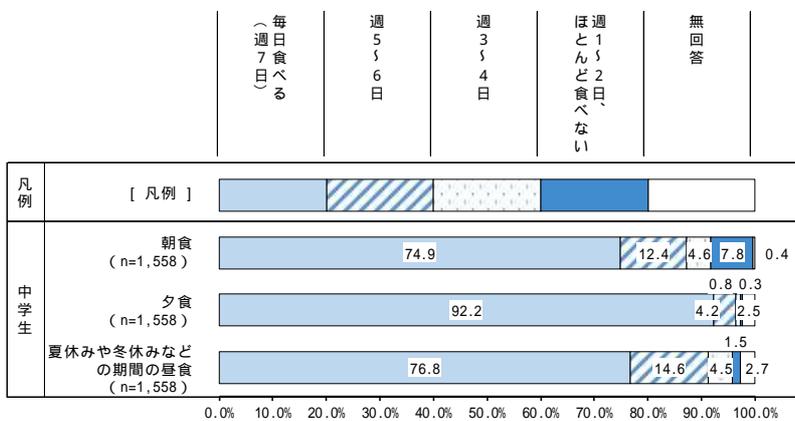
(1) 食事の状況

【食事の頻度】(小学生 問11)



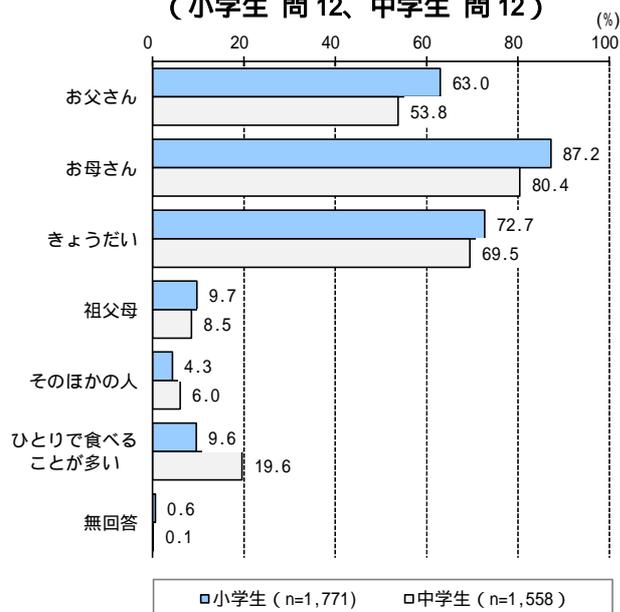
小学生では、「毎日食べる（週7日）」のは夕食が最も高くなっています。また、朝食では「週3～4日」「週1～2日、ほとんど食べない」は、合わせて4.7%となっています。

【食事の頻度】(中学生 問11)



中学生では、「毎日食べる（週7日）」のは夕食が最も高くなっています。また、朝食では「週3～4日」「週1～2日、ほとんど食べない」は、合わせて12.4%となっています。

【一緒に食事をする人】複数回答
(小学生 問 12、中学生 問 12)



小学生、中学生ともに「お母さん」「きょうだい」「お父さん」の順に高くなっています。また、「ひとりで食べる人が多い」は、小学生が9.6%、中学生が19.6%となっています。

【一緒に食事をする人×生活の満足度】
(小学生 問 12、問 20)

単位：%

		小学生 (n)	一緒に食事をする人 (MA)						無回答
			お父さん	お母さん	きょうだい	祖父母	そのほかの人	ひとりで食べる人が多い	
全体		1,771	63.2	87.4	72.9	9.7	4.3	9.7	0.4
生活の満足度	0 (まったく満足していない) ~ 2	84	50.0	70.2	54.8	2.4	2.4	32.1	1.2
	3 ~ 4	163	49.7	81.0	65.0	9.2	4.9	19.6	-
	5	175	57.7	84.6	76.0	7.4	4.0	9.1	-
	6 ~ 7	320	61.6	86.9	73.1	12.2	5.6	9.4	0.3
	8 ~ 10 (十分に満足している)	1,014	68.1	90.8	75.0	10.1	4.0	6.5	0.2

生活の満足度別にみると、「0 (まったく満足していない) ~ 2」に回答している人のうち「ひとりで食べる人が多い」回答者が占める割合は、小学生で32.1%、中学生で43.9%となっています。ひとりで食べる人が多い人では、満足度の低い点数に回答が多く集まっている傾向がみられます。

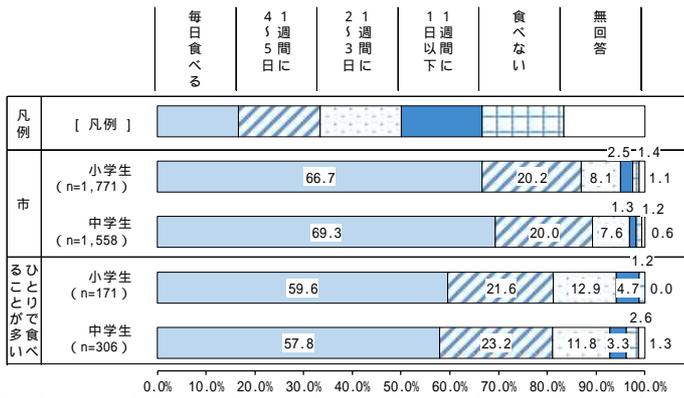
【一緒に食事をする人×生活の満足度】
(中学生 問 12、問 20)

単位：%

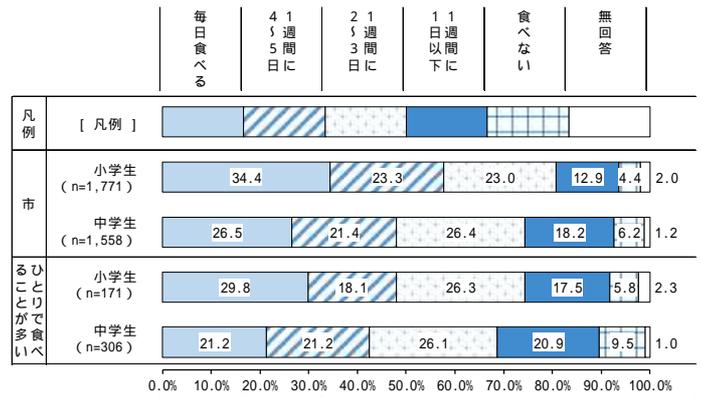
		中学生 (n)	一緒に食事をする人 (MA)						無回答
			お父さん	お母さん	きょうだい	祖父母	そのほかの人	ひとりで食べる人が多い	
全体		1,558	53.8	80.5	69.5	8.5	6.0	19.6	0.1
生活の満足度	0 (まったく満足していない) ~ 2	82	37.8	59.8	52.4	8.5	4.9	43.9	-
	3 ~ 4	159	42.1	72.3	64.2	7.5	6.3	27.0	-
	5	167	44.3	74.9	65.3	10.2	4.8	24.6	-
	6 ~ 7	387	59.4	85.3	74.2	6.5	6.7	16.5	-
	8 ~ 10 (十分に満足している)	754	57.6	83.6	71.4	9.4	6.0	16.0	-

(2) 食事別の摂取状況

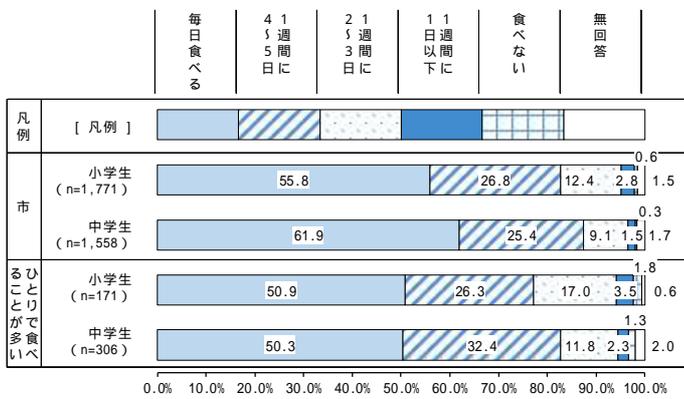
【野菜の摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)



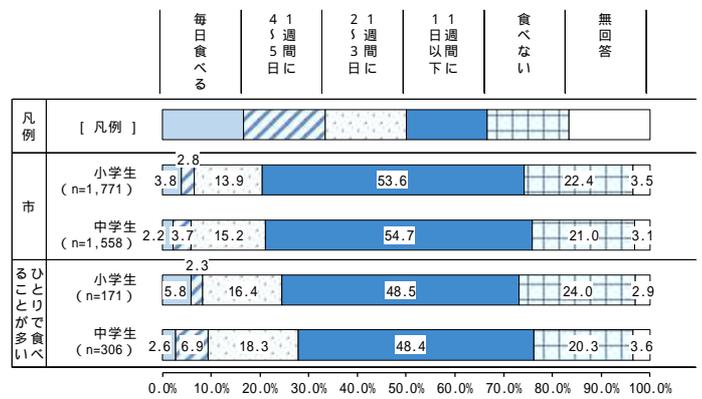
【くだもの摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)



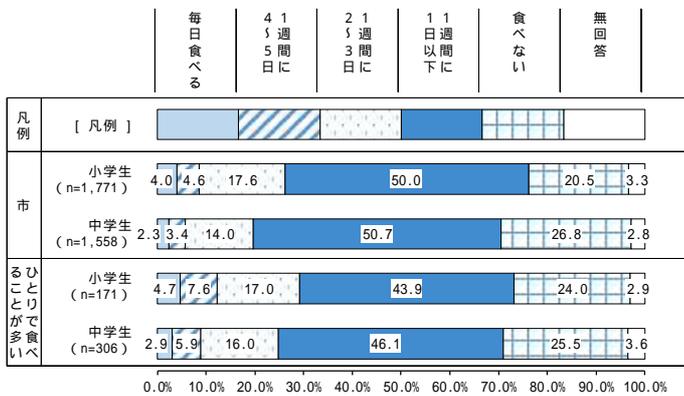
【肉か魚の摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)



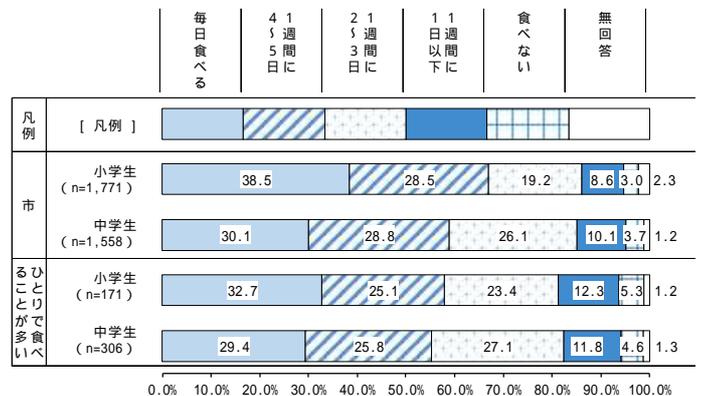
【カップめん・インスタントめんの摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)



【コンビニのおにぎり・お弁当の摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)



【お菓子の摂取頻度】
(小学生 問 13、中学生 問 13)

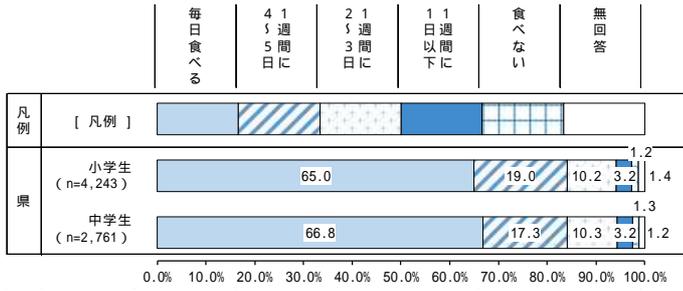


小学生、中学生ともに、「毎日食べる」が最も高いのは野菜、くだもの、肉か魚、お菓子で、カップめん・インスタントめん、コンビニのおにぎり・お弁当は「1週間に1日以下」が最も高くなっています。

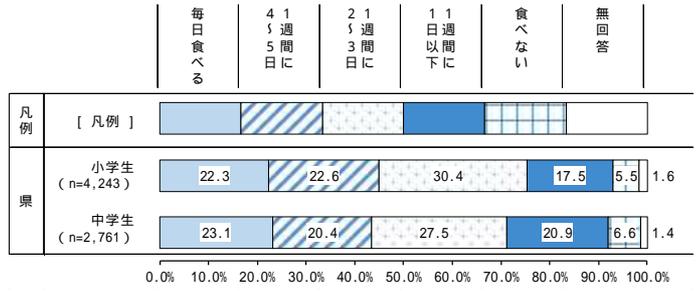
ひとりで食べる人が多い人を見ると、小学生、中学生ともに「毎日食べる」が最も高いものは野菜、肉か魚、お菓子で、カップめん・インスタントめんについては、「毎日食べる」が小学生全体・中学生全体と比べて割合が高く、特に中学生では、野菜、肉か魚が中学生全体を10%以上回っています。また、1週間に2～3日以上摂取する割合が、カップめん・インスタントめんでは小学生で24.5%、中学生で27.8%、コンビニのおにぎり・お弁当では小学生で29.3%、中学生で24.8%となっており、いずれも小学生全体・中学生全体を上回っています。

参考

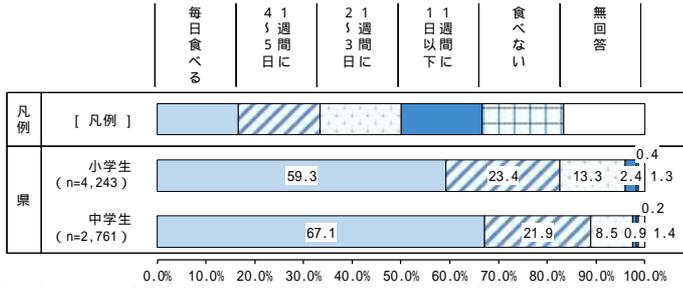
【野菜の摂取頻度】



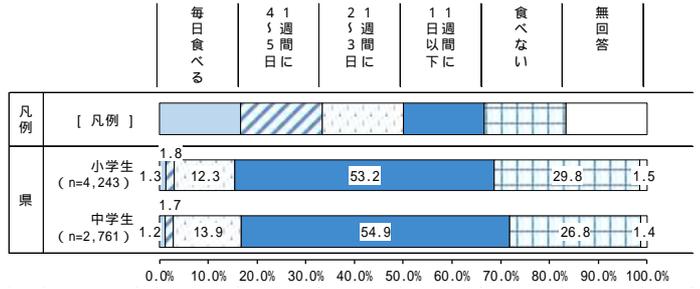
【くだものの摂取頻度】



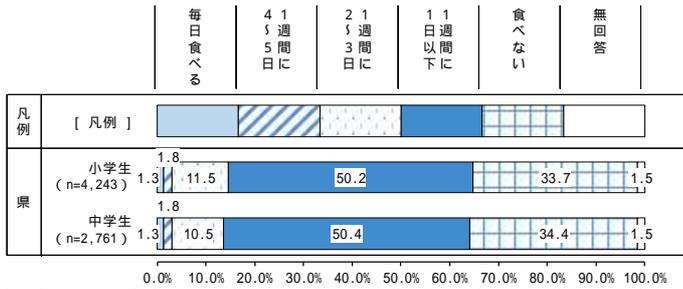
【肉か魚の摂取頻度】



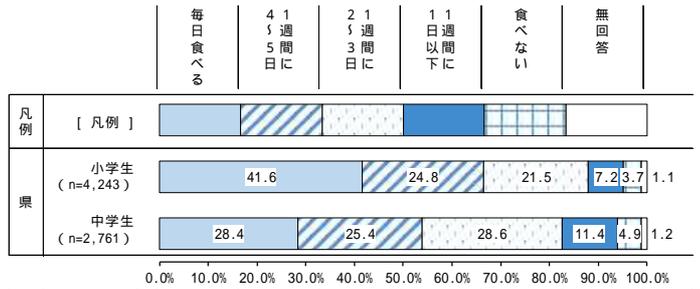
【カップめん・インスタントめんの摂取頻度】



【コンビニのおにぎり・お弁当の摂取頻度】

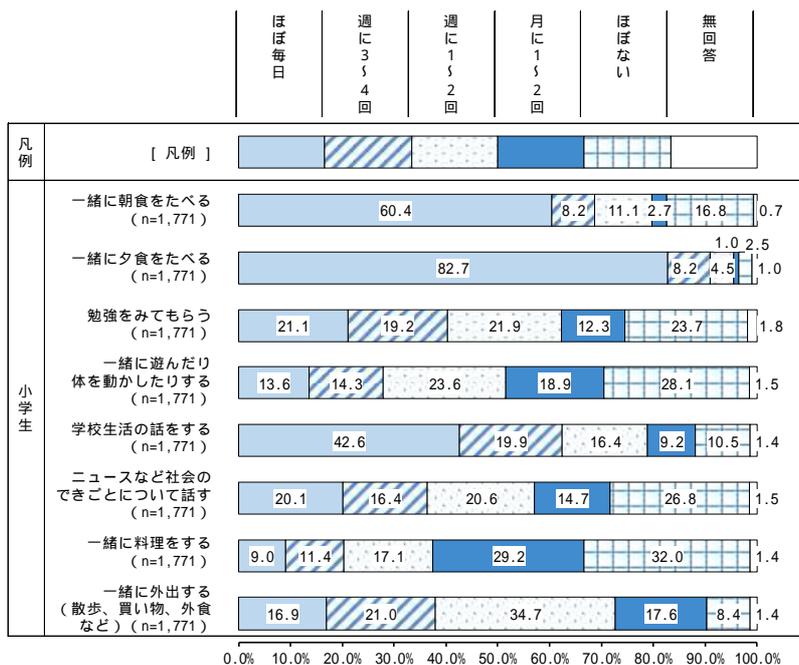


【お菓子の摂取頻度】



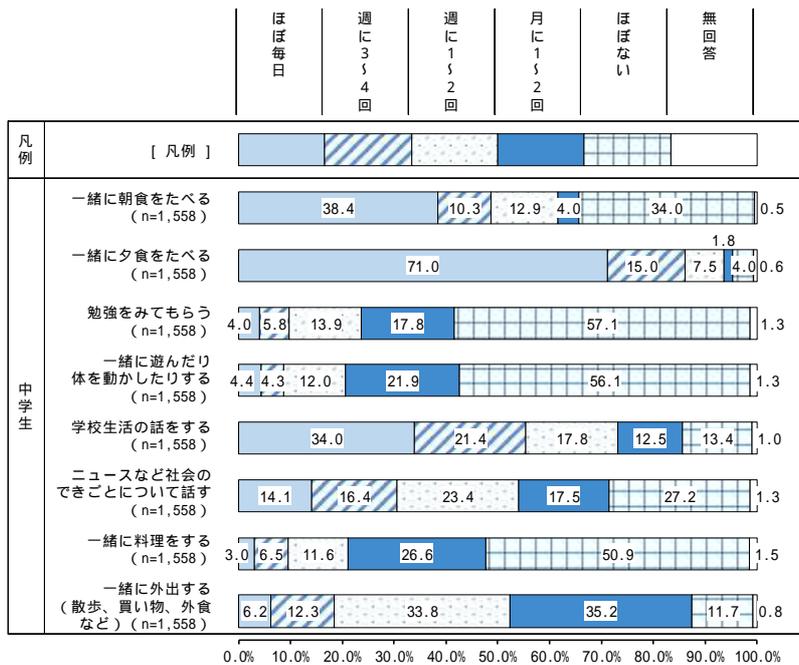
(3)大人との過ごし方

【大人と行う活動の頻度】(小学生 問 15)



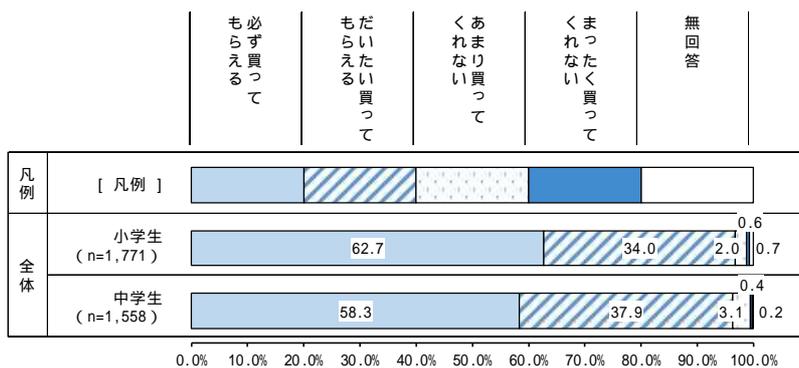
「ほぼ毎日」行っているのが最も高い活動は「一緒に夕食を食べる」となっています。
 「一緒に朝食をたべる」「学校生活の話をする」は「ほぼ毎日」が最も高くなっています。一方、「一緒に料理をする」「一緒に遊んだり体を動かしたりする」「ニュースなど社会のできごとについて話す」「勉強をみてもらおう」では、「ほぼない」が最も高くなっています。

【大人と行う活動の頻度】(中学生 問 15)



「ほぼ毎日」行っているのが最も高い活動は「一緒に夕食を食べる」となっています。
 「一緒に朝食をたべる」「学校生活の話をする」は「ほぼ毎日」が最も高くなっているものの、いずれも30%台で、小学生と比べて低下しています。また、「勉強をみてもらおう」「一緒に遊んだり体を動かしたりする」「一緒に料理をする」では、「ほぼない」が50%を超えています。

【大人による学習用具の購入】(小学生 問 17、中学生 問 17)

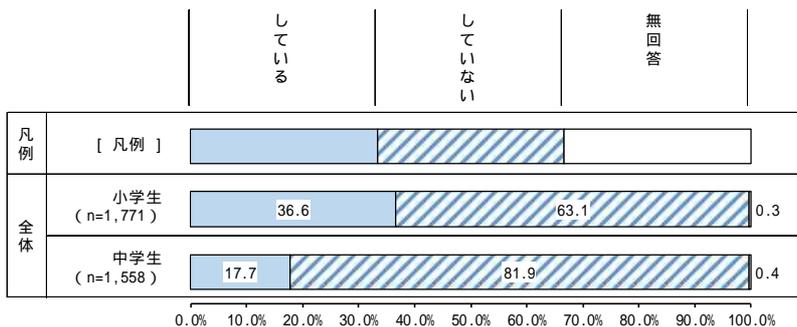


「必ず買ってもらえる」は、小学生で62.7%、中学生で58.3%となっています。また、「あまり買ってくれない」「まったく買ってくれない」は、小学生で2.6%、中学生で3.5%となっています。

4. 家族の世話について

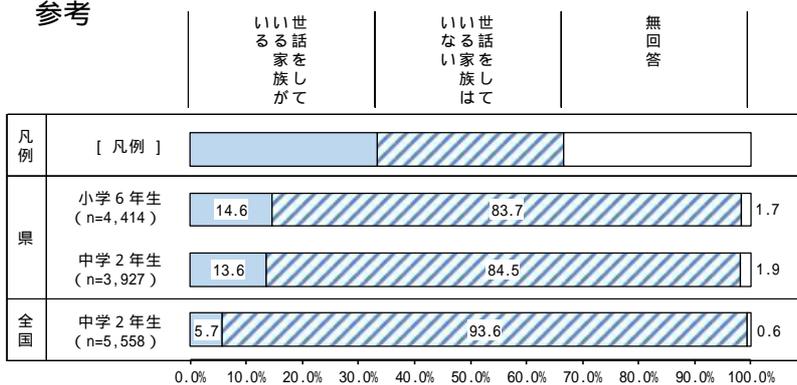
(1) 家族の世話をする状況

【家族の世話の有無】(小学生 問 18A、中学生 問 18A)

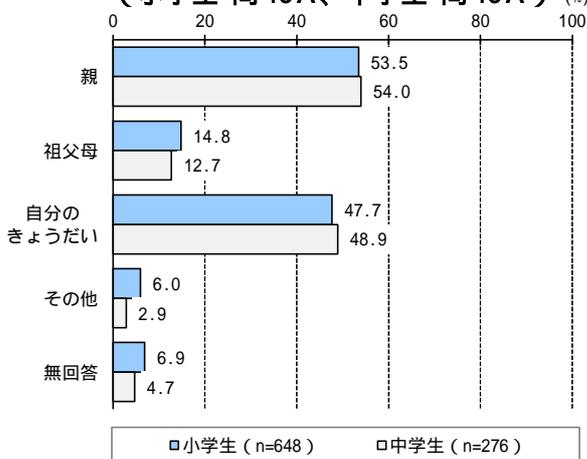


家族の世話をしているのは、小学生が36.6%、中学生が17.7%となっています。

参考

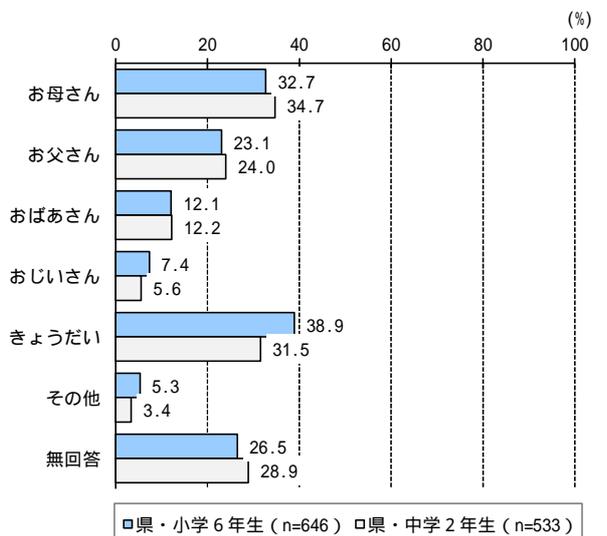
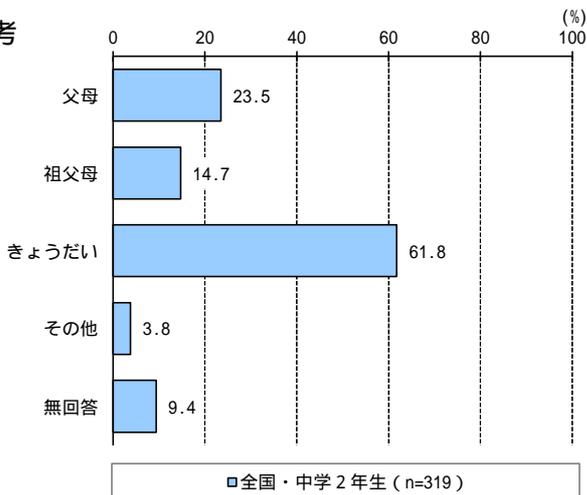


【世話を必要とする家族】複数回答 (小学生 問 18A、中学生 問 18A) (%)

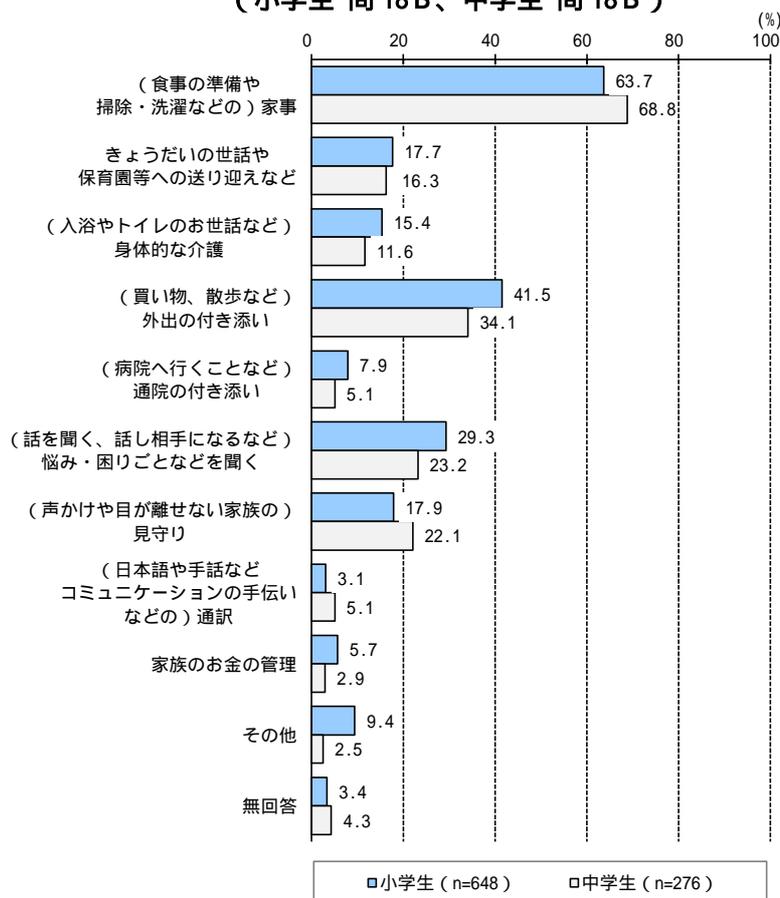


世話を必要とする家族は、小学生、中学生ともに、「親」「自分のきょうだい」がいずれも約50%となっています。

参考

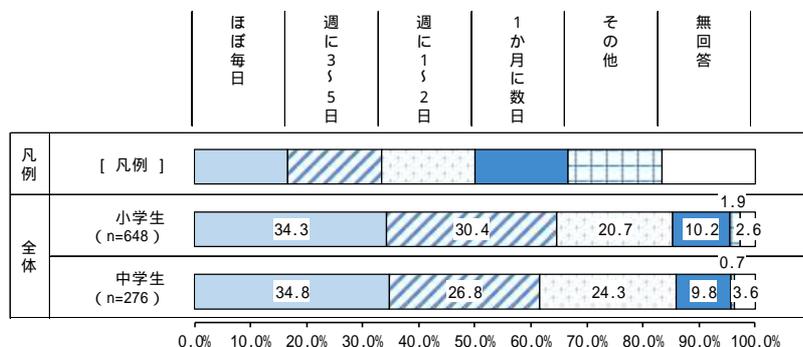


【世話の内容】複数回答
(小学生 問 18B、中学生 問 18B)



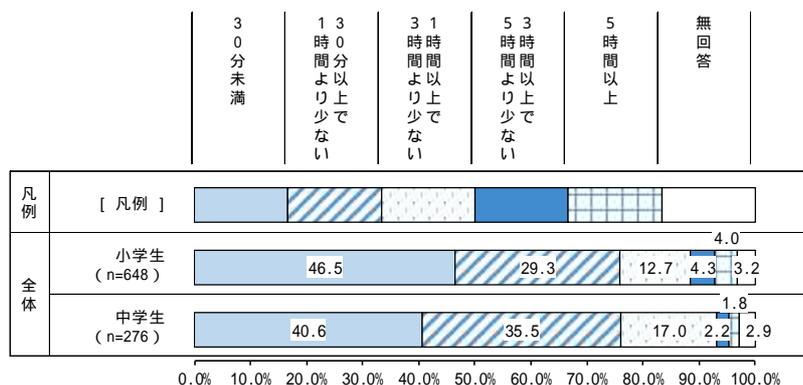
世話の内容は、小学生、中学生ともに「(食事の準備や掃除・洗濯などの)家事」が最も高くなっています。また、小学生では「(買い物、散歩など)外出の付き添い」「(話を聞く、話し相手になるなど)悩み・困りごとなどを聞く」が、中学生を5ポイント以上上回っています。

【世話の頻度】(小学生 問 18C、中学生 問 18C)



世話をする頻度は、小学生、中学生ともに「ほぼ毎日」が最も高くなっています。

【1日あたりの世話の時間】(小学生 問 18D、中学生 問 18D)



1日あたりの世話をする時間は、小学生、中学生ともに「30分未満」が最も高く、1時間未満の割合が約75%となっています。

(2) 家族の世話をする人の生活の満足度

【家族の世話をする人×生活の満足度】
(小学生 問18A、問20)

単位：%

		小学生 (n)	家族のお世話を 日常的にしているか		
			し て い る	し て い な い	無 回 答
全体		1,771	63.2	87.4	0.4
生活 の 満 足 度	0(まったく満足 していない)~2	84	38.1	61.9	-
	3~4	163	36.2	63.2	0.6
	5	175	31.4	68.6	-
	6~7	320	36.3	63.8	-
	8~10(十分に 満足している)	1,014	37.4	62.4	0.2

【家族の世話をする人×生活の満足度】
(中学生 問18A、問20)

単位：%

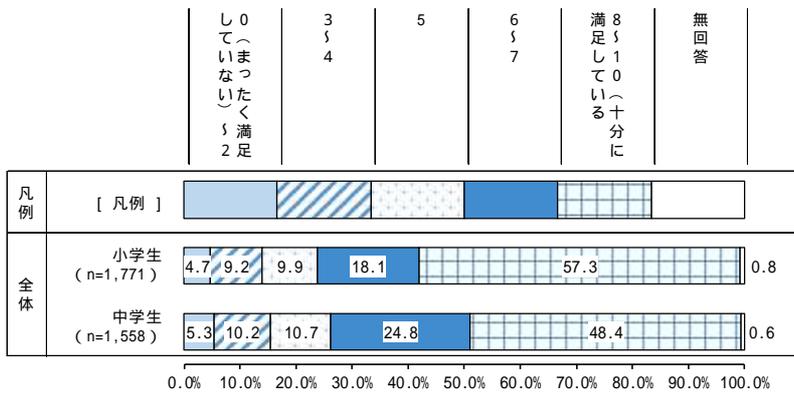
		中学生 (n)	家族のお世話を 日常的にしているか		
			し て い る	し て い な い	無 回 答
全体		1,558	17.7	81.9	0.4
生活 の 満 足 度	0(まったく満足 していない)~2	82	20.7	78.0	1.2
	3~4	159	16.4	83.6	-
	5	167	16.2	83.2	0.6
	6~7	387	15.2	84.2	0.5
	8~10(十分に 満足している)	754	19.4	80.6	-

生活の満足度別にみると、「0(まったく満足していない)~2」に回答している人のうち「家族の世話をしている」回答者が占める割合は、小学生で38.1%、中学生で20.7%となっています。また、「8~10(十分に満足している)」に回答している人のうち「家族の世話をしている」回答者が占める割合は、小学生で37.4%、中学生で19.4%となっています。

5 . 生活の満足度、こころの状態、悩みや相談支援について

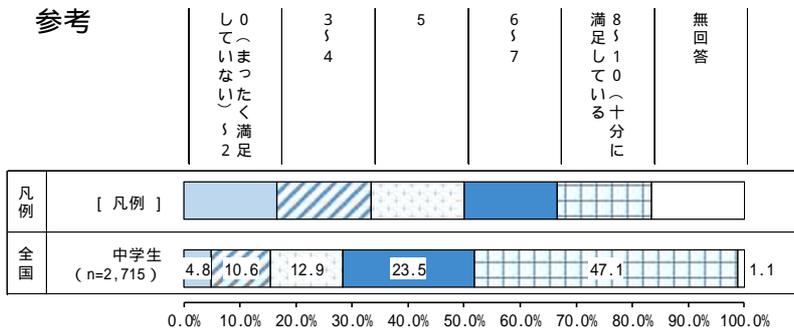
(1)生活の満足度

【生活の満足度】(小学生 問 20、中学生 問 20)



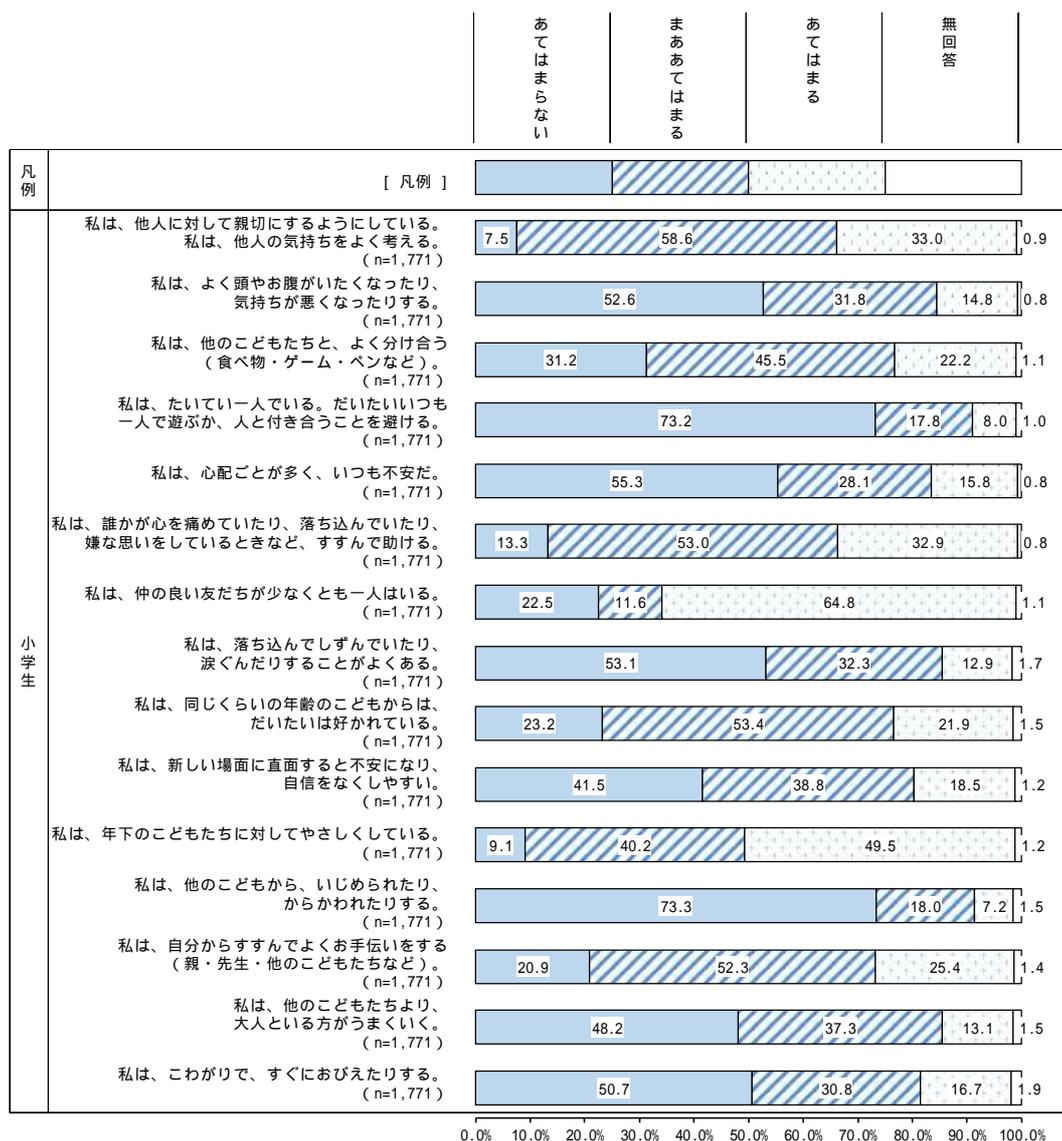
生活の満足度は、小学生、中学生のいずれも「8～10(十分に満足している)」が最も高く、小学生では50%を超えています。

参考



(2)他者との関係やこころの状態

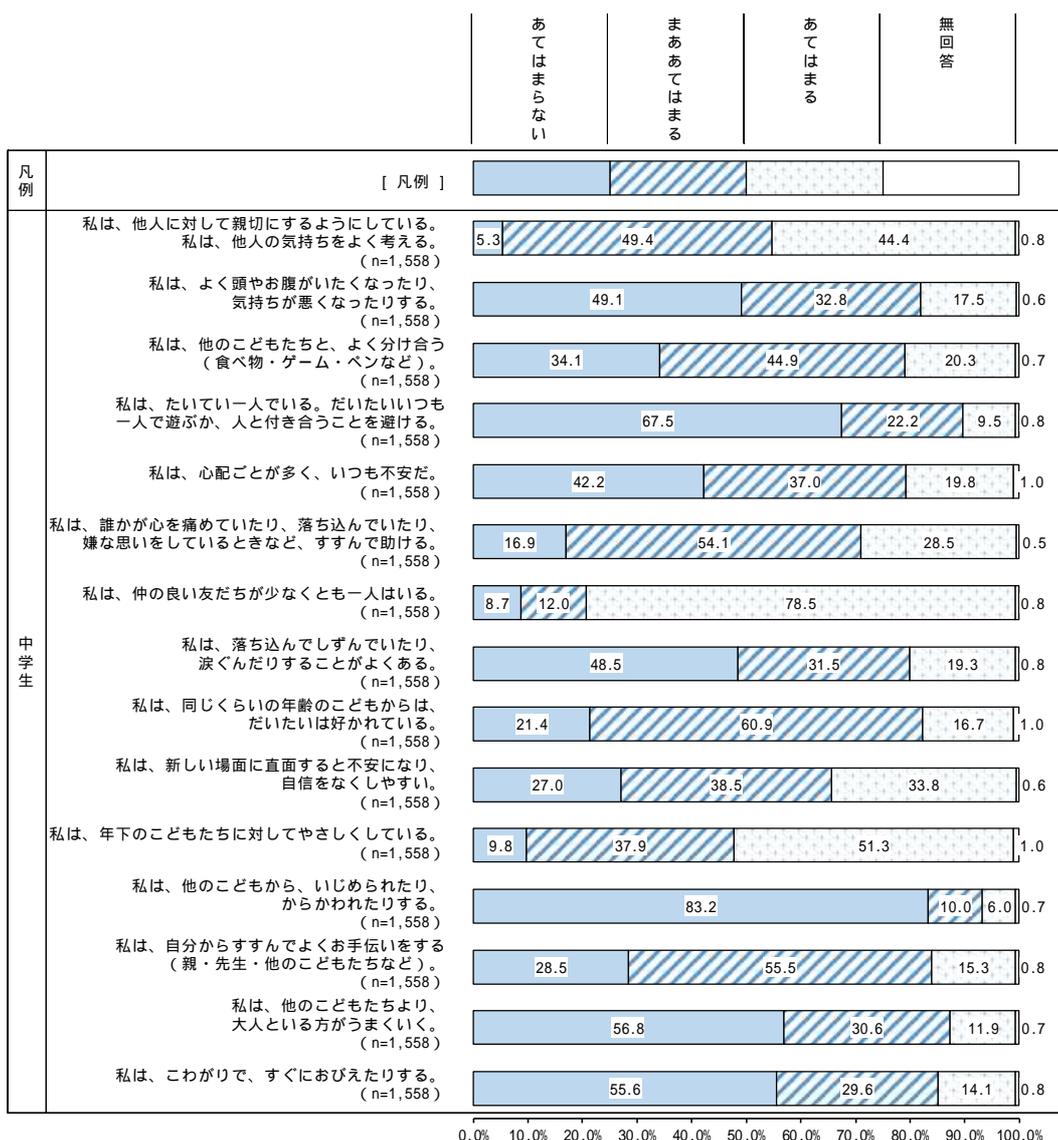
【他者との関係やこころの状態】(小学生 問 21)



「私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。」「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。」「私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。」は、「まああてはまる」「あてはまる」が合わせて約90%と、高い割合となっています。

「私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。」「私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。」「私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。」「私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。」「私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。」「私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。」は、「まああてはまる」「あてはまる」が合わせて約50%となっています。特に、「私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。」は、「まああてはまる」「あてはまる」が合わせた割合が「あてはまらない」を上回っています。

【他者との関係やこころの状態】(中学生 問 21)

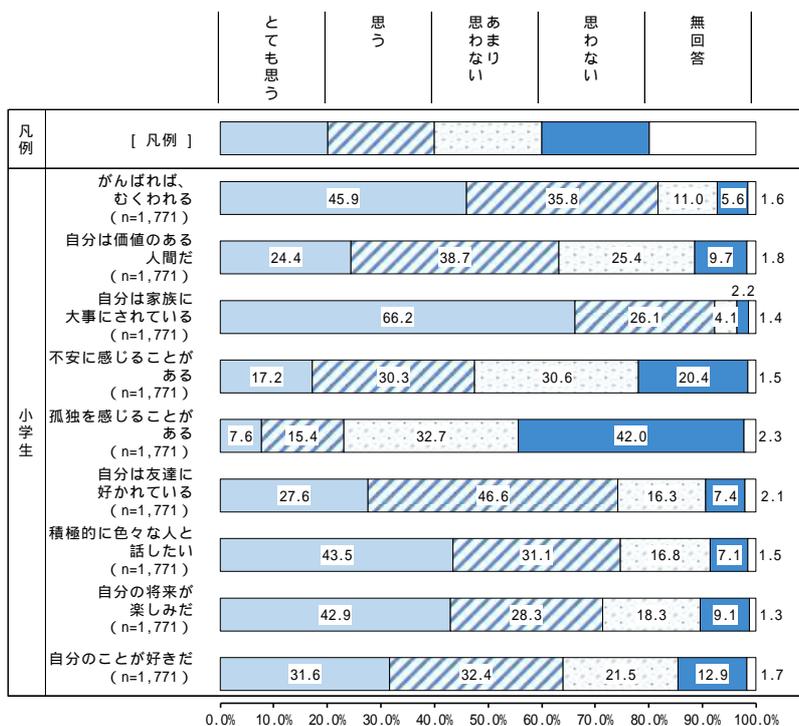


0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

「私は、他人に対して親切にしているようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。」「私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」「私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。」「私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。」は、「まああてはまる」「あてはまる」が合わせて80%以上と、高い割合となっています。

「私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。」「私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。」「私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。」「私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。」は、「まああてはまる」「あてはまる」が合わせて約50%となっており、「あてはまらない」を上回っています。

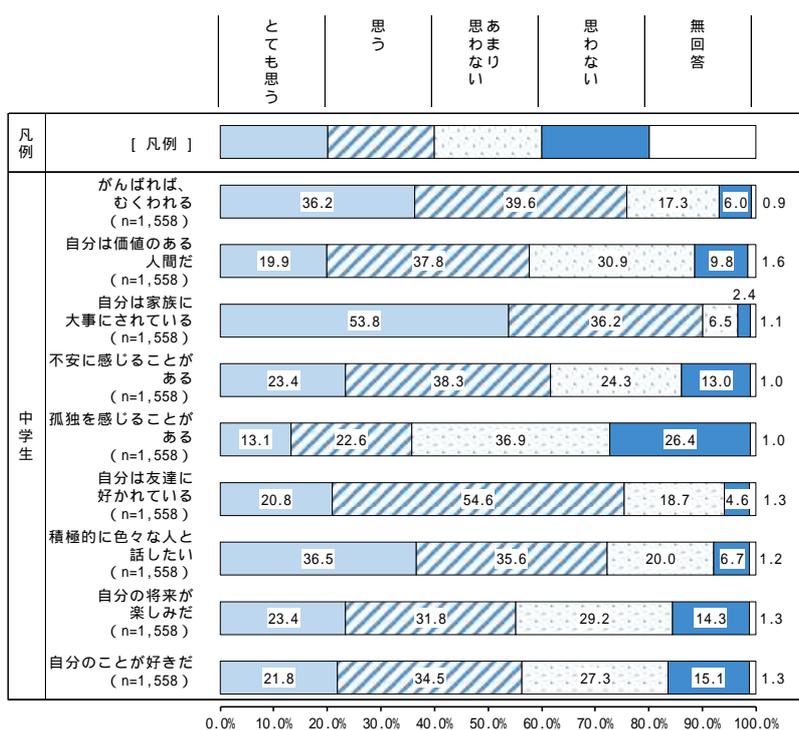
【自尊感情に関すること】(小学生 問 25)



「自分は家族に大事にされている」「がんばれば、むくわれる」「積極的に色々な人と話したい」「自分は友達に好かれている」「自分の将来が楽しみだ」は、「とても思う」「思う」が合わせて 70%を超えています。

「不安を感じることもある」は、「とても思う」「思う」と「あまり思わない」「思わない」がほぼ同じ割合となっています。

【自尊感情に関すること】(中学生 問 25)



「自分は家族に大事にされている」「がんばれば、むくわれる」「自分は友達に好かれている」は、「とても思う」「思う」が合わせて 70%を超えています。

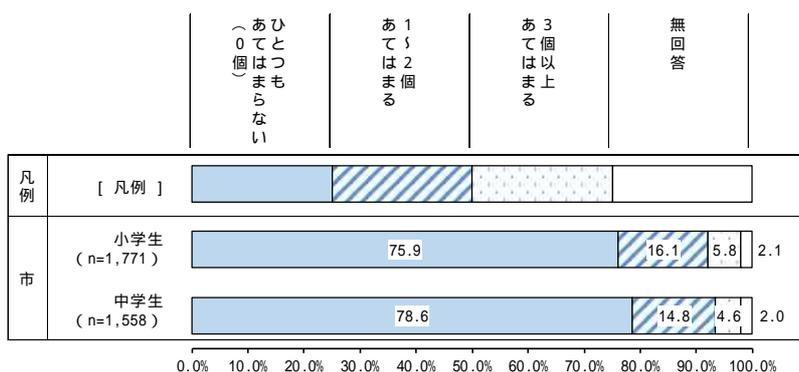
「自分の将来が楽しみだ」「自分のことが好きだ」「自分は価値のある人間だ」は、「あまり思わない」「思わない」が合わせて 40%を超えています。

(3)こころの健康に影響を及ぼす体験

こころの健康に影響を及ぼす体験は、以下のa~hのようなことにあてはまる個数を尋ねています。

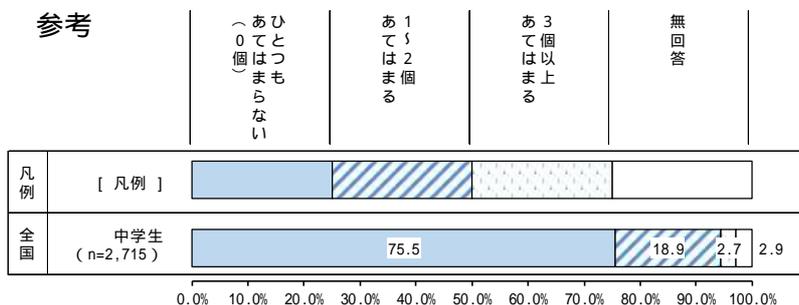
- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる 麻薬など：麻薬、覚せい剤、大麻などの薬物のこと
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

【こころの健康に影響を及ぼす体験】
(小学生 問 22、中学生 問 22)



虐待や両親の離婚などの体験に関する設問に3つ以上あてはまるのは、小学生が5.8%、中学生が4.6%となっています。

参考



【こころの健康に影響を及ぼす体験×生活の満足度】 【こころの健康に影響を及ぼす体験×生活の満足度】
 (小学生 問 22、問 20) (中学生 問 22、問 20)

単位：%

		小学生 (n)	こころの健康に影響を及ぼす体験			
			(0個はつまらない)	あてはまる 1は2個	あてはまる 3は以上	無回答
全体		1,771	75.9	16.1	5.8	2.1
生活の満足度	0 (まったく満足していない) ~ 2	84	40.5	35.7	23.8	-
	3 ~ 4	163	51.5	36.8	8.0	3.7
	5	175	72.6	17.7	7.4	2.3
	6 ~ 7	320	73.8	19.4	5.0	1.9
	8 ~ 10 (十分に満足している)	1,014	84.6	9.8	4.0	1.6

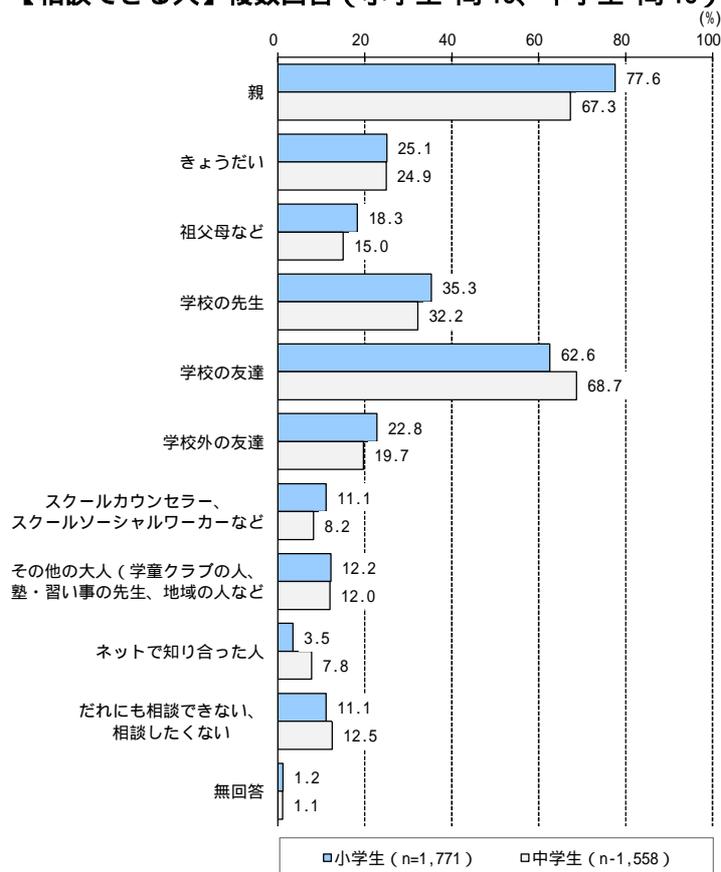
単位：%

		中学生 (n)	こころの健康に影響を及ぼす体験			
			(0個はつまらない)	あてはまる 1は2個	あてはまる 3は以上	無回答
全体		1,558	78.6	14.8	4.6	2.0
生活の満足度	0 (まったく満足していない) ~ 2	82	45.1	29.3	24.4	1.2
	3 ~ 4	159	64.8	23.9	8.8	2.5
	5	167	73.1	20.4	3.6	3.0
	6 ~ 7	387	82.2	12.4	3.4	2.1
	8 ~ 10 (十分に満足している)	754	84.9	11.5	2.4	1.2

生活の満足度別にみると、「0 (まったく満足していない) ~ 2」に回答している人のうち「3個以上あてはまる」回答者が占める割合は、小学生で 23.8%、中学生で 24.4%となっています。こころの健康に影響を及ぼす体験に3個以上あてはまる人では、満足度の低い点数に回答が多く集まっている傾向がみられます。

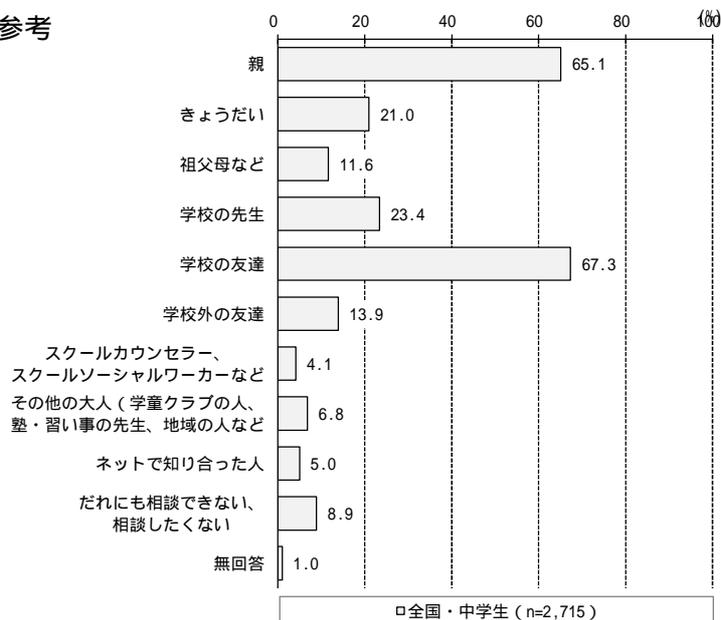
(4)身近な相談支援先

【相談できる人】複数回答（小学生 問 19、中学生 問 19）

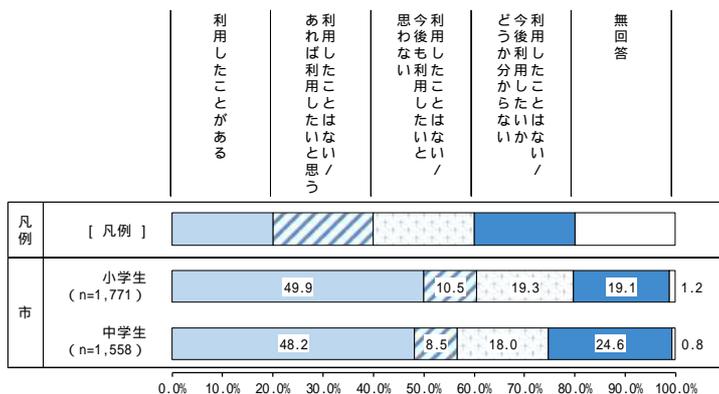


小学生では「親」が77.6%、中学生では「学校の友達」が68.7%で最も高くなっています。また、「だれにも相談できない、相談したくない」は、小学生が11.1%、中学生が12.5%となっています。

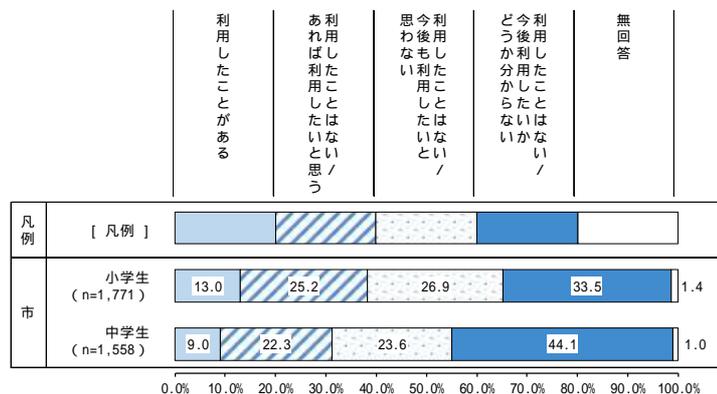
参考



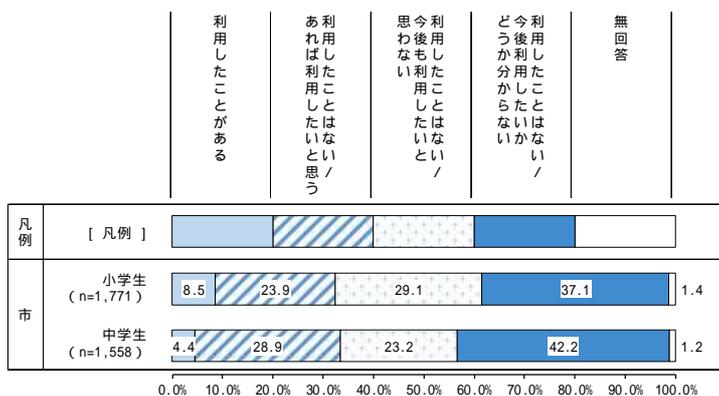
**【支援サービスの利用】(自分や友人の家以外で)
平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(児童館・児童センターや図書館、公園など)
(小学生 問 23、中学生 問 23)**



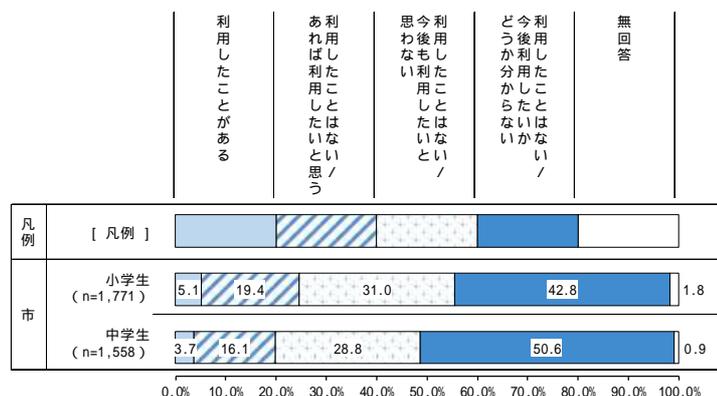
**【支援サービスの利用】(自分や友だちの家以外で)
夕ごはんを無料か安く
食べることができる場所(こども食堂など)
(小学生 問 23、中学生 問 23)**



**【支援サービスの利用】
勉強を無料でみてくれる場所
(小学生 問 23、中学生 問 23)**



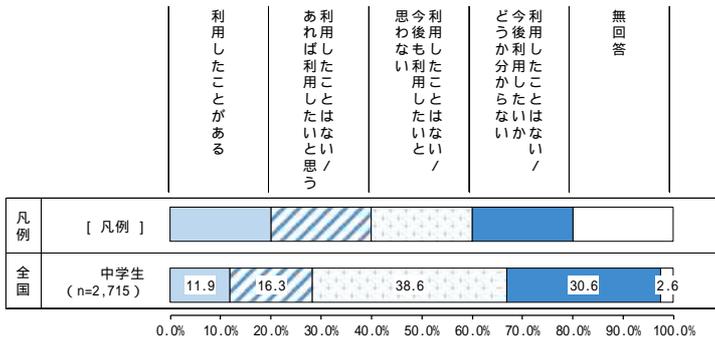
**【支援サービスの利用】(家や学校以外で)
何でも相談できる場所
(電話やネットの相談を含む。)
(小学生 問 23、中学生 問 23)**



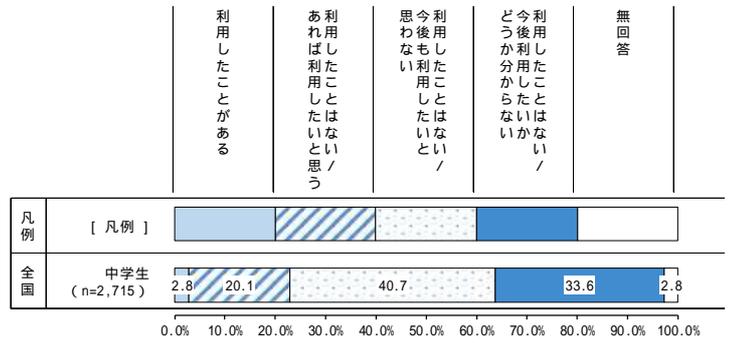
小中学生の支援サービスについて、利用したことがあるのは「(自分や友だちの家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童クラブや児童館・児童センター、図書館、公園など)」が、小学生、中学生のいずれも最も高くなっています。また、「利用したことがない／今後利用したいと思わない」のが最も高いのは、「(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)」で、小学生、中学生のいずれも約30%となっています。

参考

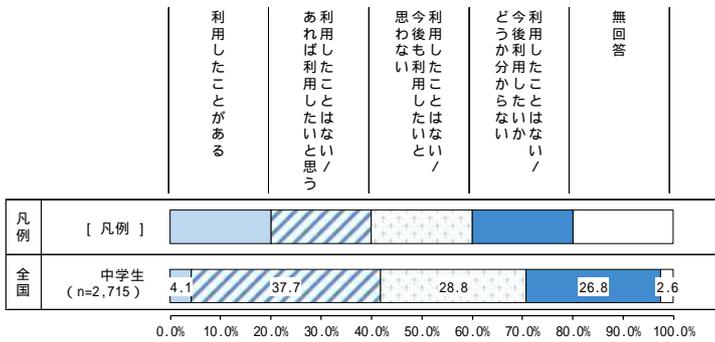
【支援サービスの利用】(自分や友人の家以外で)
平日の夜や休日を過ごすことができる場所
(児童館・児童センターや図書館、公園など)



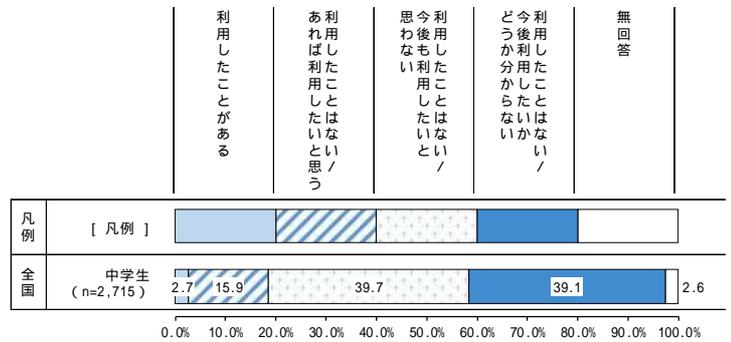
【支援サービスの利用】(自分や友だちの家以外で)
夕ごはんを無料か安く
食べることができる場所(こども食堂など)



【支援サービスの利用】
勉強を無料でみてくれる場所



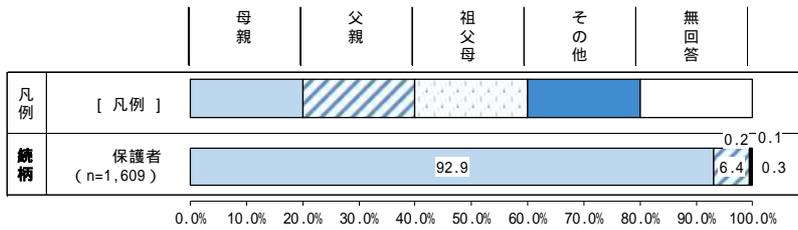
【支援サービスの利用】(家や学校以外で)
何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)



【保護者】

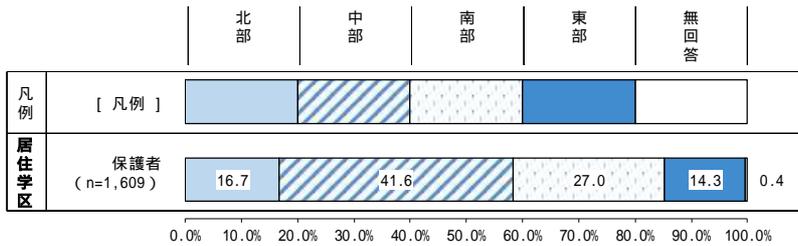
1. 回答者の属性

【保護者の続柄】(保護者 問1)



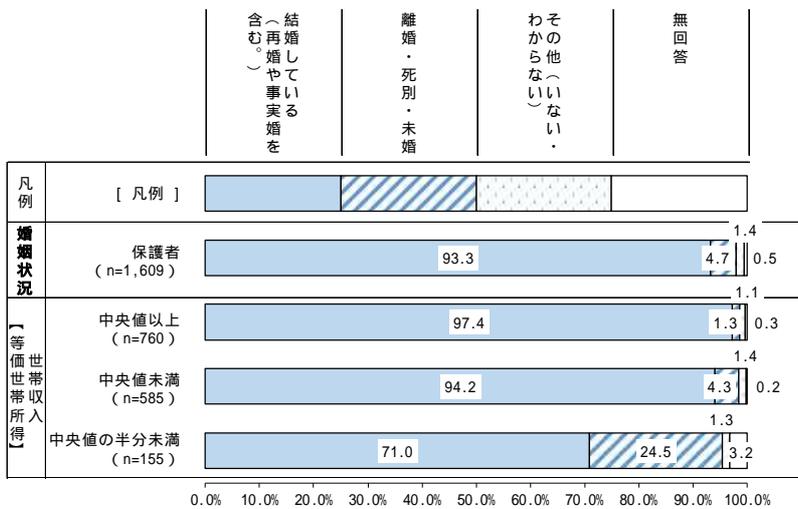
母親が92.9%で最も高くなっています。

【居住学区】(保護者 問2)



中部が41.6%で最も多く、次いで南部が27.0%、北部が16.7%、東部が14.3%となっています。

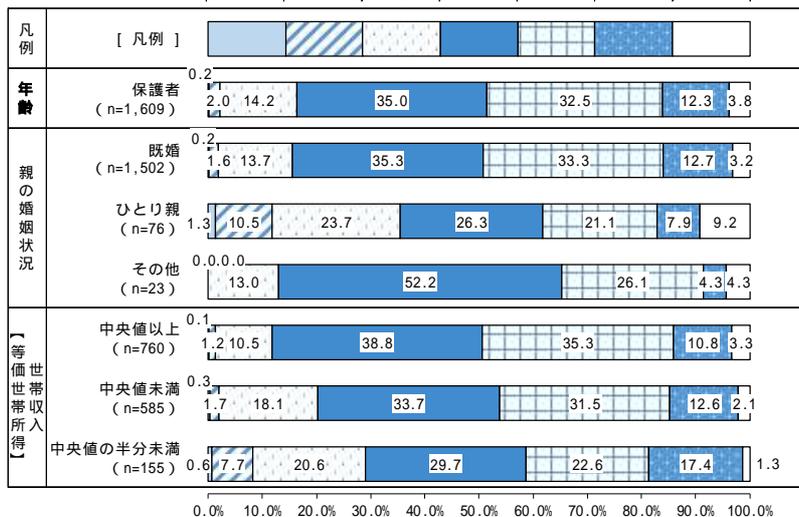
【保護者の婚姻状況】(保護者 問6)



全体では、結婚しているが93.3%で最も高くなっています。離婚・死別・未婚は4.7%となっています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では離婚・死別・未婚が24.5%で、他の区分に比べて高くなっています。

【母親の年齢】(保護者 問4)

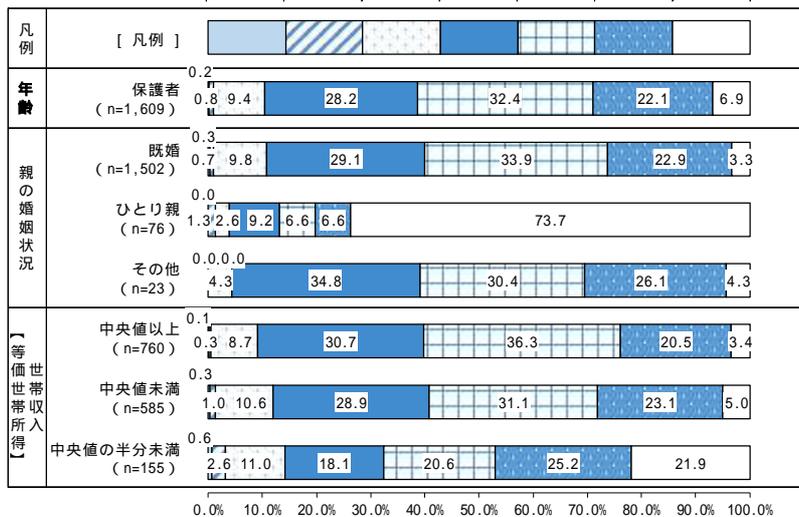
30歳未満	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳以上	無回答
3	3	3	4	4	5	
0	0	5	5	0	0	
歳未満	歳	歳	歳	歳	歳以上	無回答
4	4	9	4	9		



母親の年齢は、40～44歳が35.0%で最も高くなっています。
 婚姻状況別にみると、ひとり親では35～39歳が23.7%、30～34歳が10.5%と他の区分より高くなっています。
 世帯収入別にみると、中央値未満及び中央値の半分未満では、40歳未満が20%を超えています。

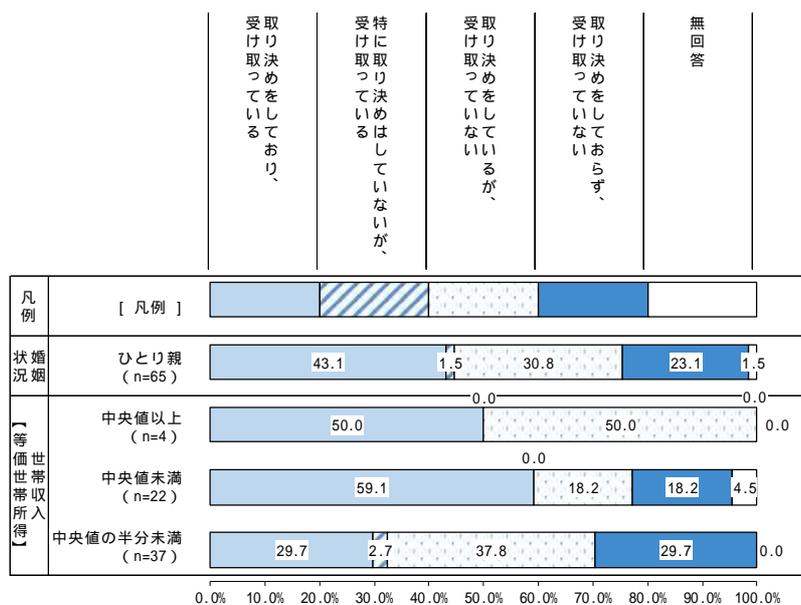
【父親の年齢】(保護者 問4)

30歳未満	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳以上	無回答
3	3	5	4	4	5	
0	0	5	5	0	5	
歳未満	歳	歳	歳	歳	歳以上	無回答
4	4	9	4	9		



父親の年齢は、45～49歳が32.4%で最も高くなっています。
 世帯収入別にみると、中央値の半分未満では、50歳以上が25.2%で最も高くなっています。

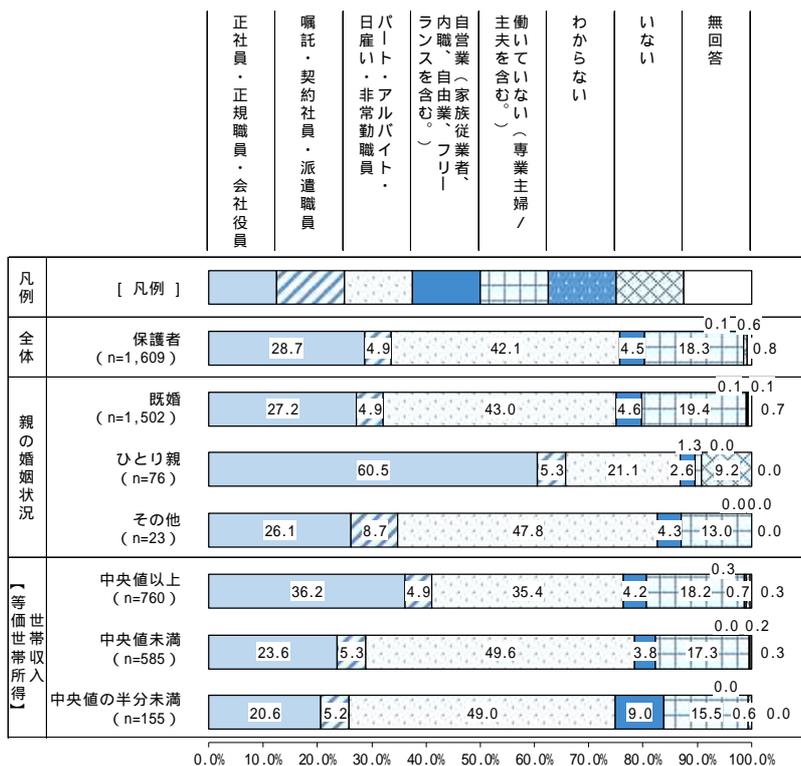
【ひとり親の養育費受け取り状況】(保護者 問7)



ひとり親の養育費受け取り状況について、「取り決めをしており、受け取っている」が43.1%で最も高くなっています。一方、「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた受け取っていない割合は53.9%となっています。

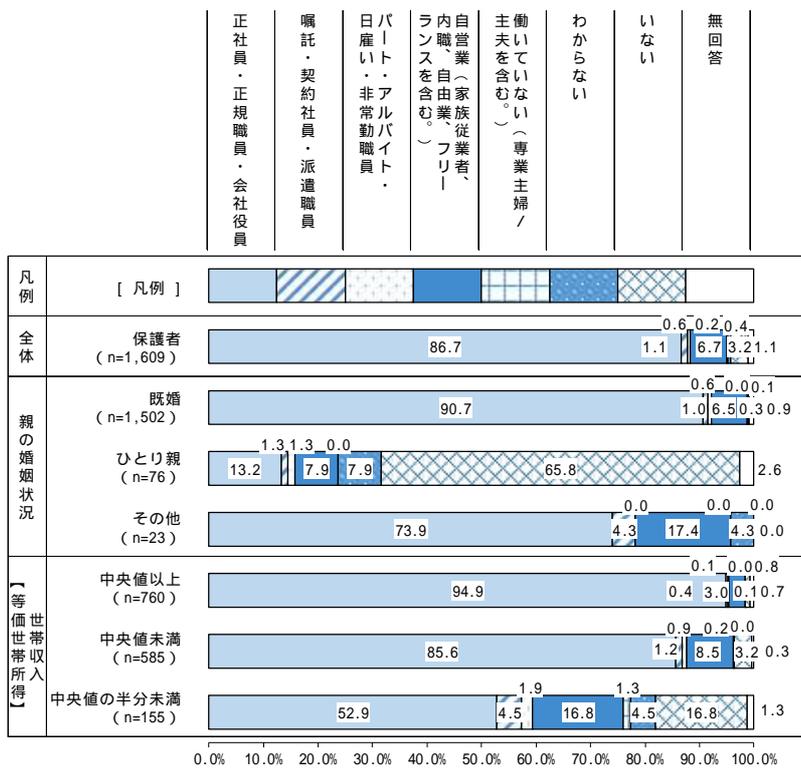
世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「取り決めをしており、受け取っている」が29.7%と他の区分に比べて低く、「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた受け取っていない割合は67.5%となっています。

【母親の就労状況】(保護者 問10)



母親の就労状況は、パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員が42.1%で最も高くなっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では正社員・正規職員・会社役員が60.5%と他の区分より高くなっています。世帯収入別にみると、中央値以上では、正社員・正規職員・会社役員が36.2%と最も高くなっています。中央値以上を除く全ての区分では、パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員が約5割を占めています。

【父親の就労状況】(保護者 問10)

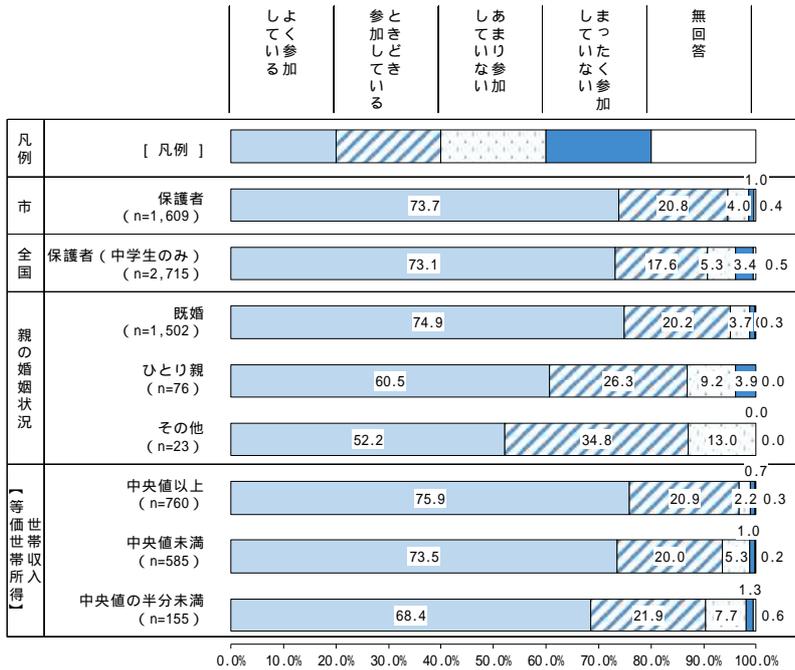


父親の就労状況は、正社員・正規職員・会社役員が86.7%で最も高くなっています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では、正社員・正規職員・会社役員が52.9%と他の区分より低くなっています。また、自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)が10%を超えています。

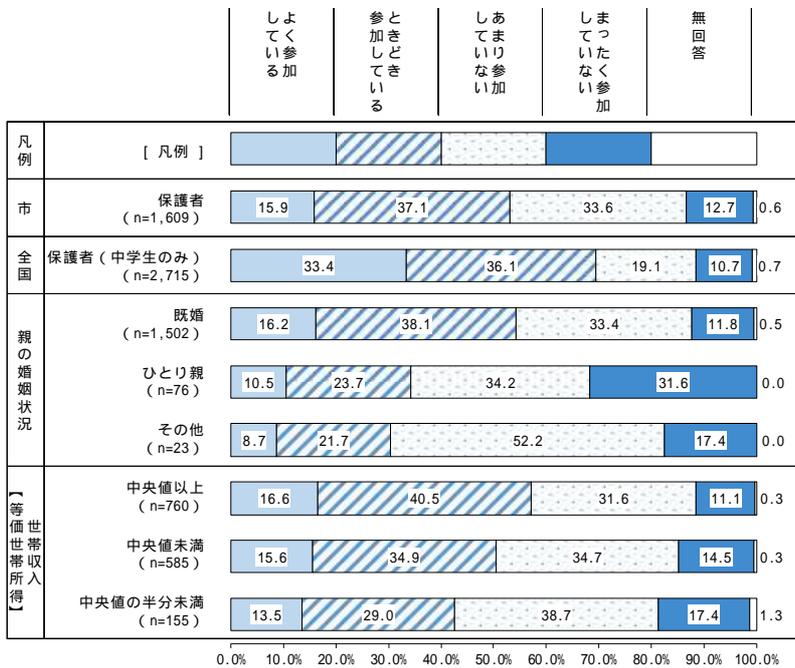
2. 学校生活・勉強・進学について

(1) 保護者の学校行事等への参加

【授業参観や運動会などの学校行事への参加】(保護者 問19)



【PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加】(保護者 問19)



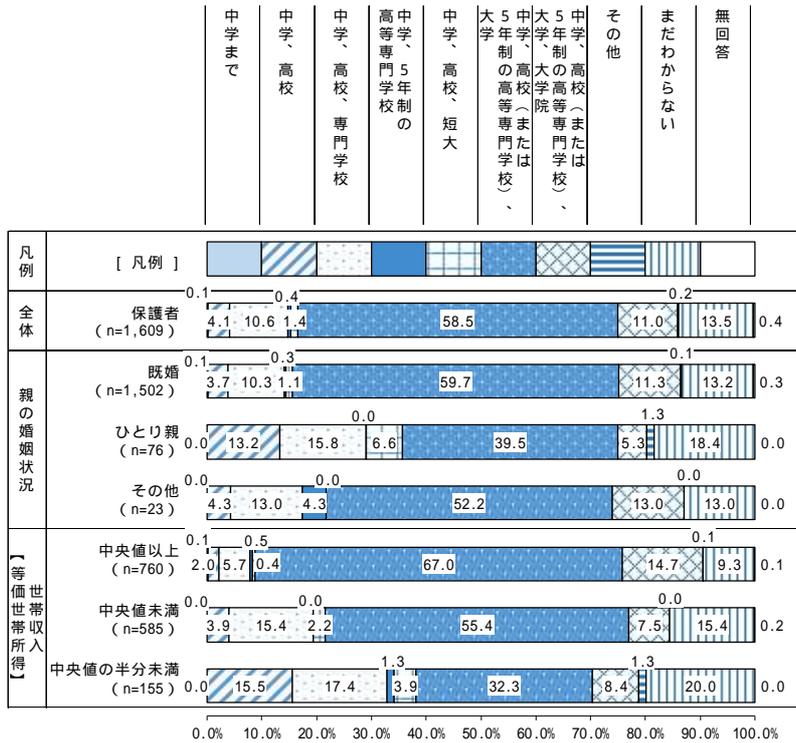
授業参観や運動会などの学校行事に「よく参加している」「ときどき参加している」のは94.5%、PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアに「よく参加している」「ときどき参加している」のは53.0%となっています。

婚姻状況別にみると、ひとり親では「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた割合は、学校行事、PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアともに、既婚を下回っています。

世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた割合は、学校行事、PTA活動や保護者会、放課後学習支援などのボランティアともに、他の区分を下回っています。

(2) 将来の進学先の希望

【将来の進学先の希望】(保護者 問20)

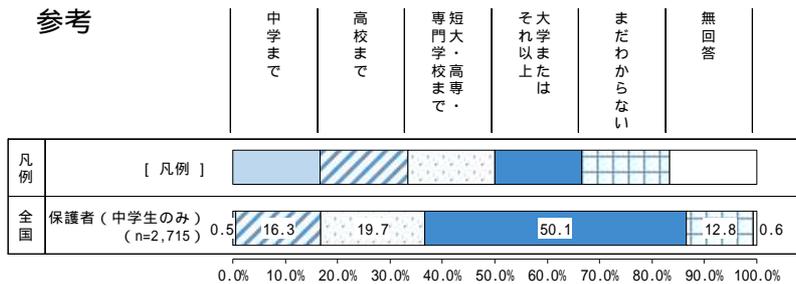


保護者では「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が58.5%で最も高く、小学生の23.1%、中学生の44.1%を上回っています。

婚姻状況別にみると、ひとり親では「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が39.5%で既婚を約20%下回り、「中学、高校」が13.2%で既婚を約10%上回っています。

世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が32.3%と他の区分を20%以上を下回っています。

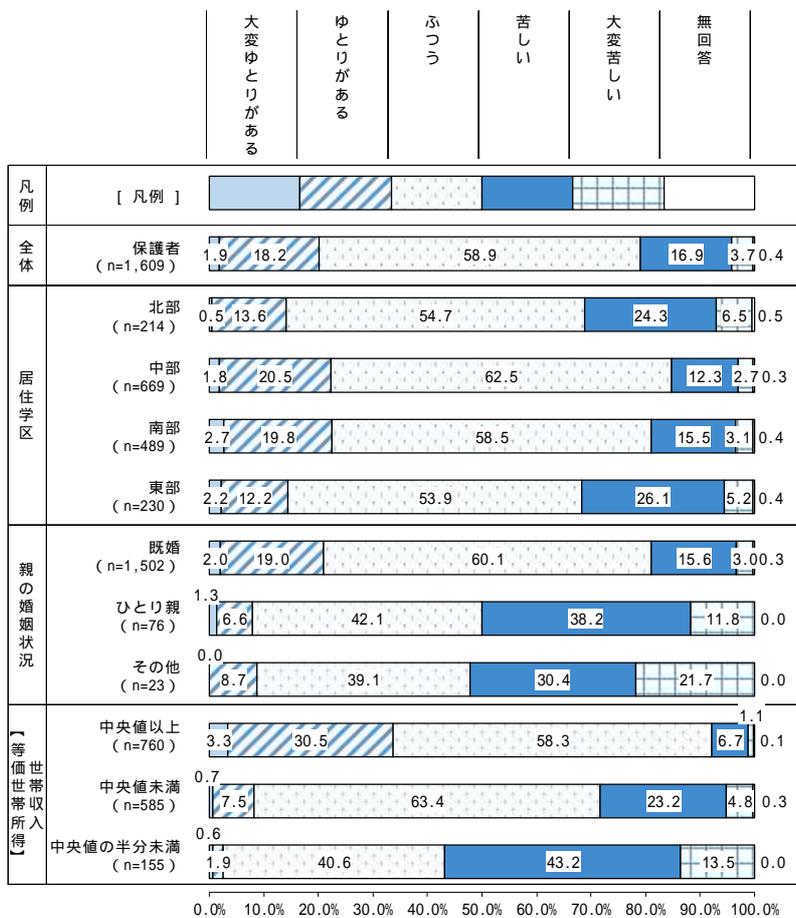
参考



3. 家庭生活について

(1) 経済的状況

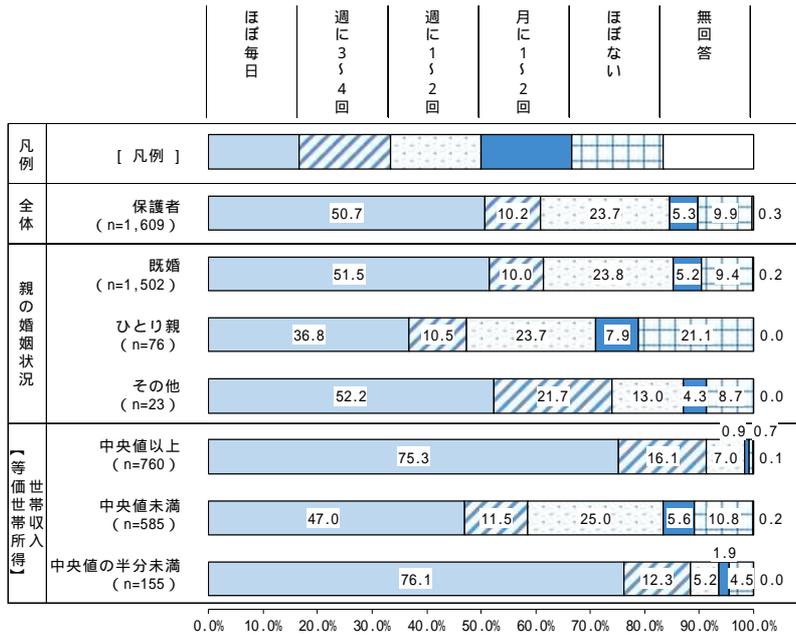
【現在の暮らしの状況】(保護者 問 23)



現在の暮らしの状況について、「ふつう」が58.9%で最も高くなっています。「苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合は20.6%、「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた割合は20.1%となっています。居住学区別にみると、「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた割合が最も高いのは南部(22.5%)、「苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合が最も高いのは東部(31.3%)となっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合は40.0%となっています。世帯収入別にみると、世帯収入が少ないほど「苦しい」「大変苦しい」の割合が高くなっています。

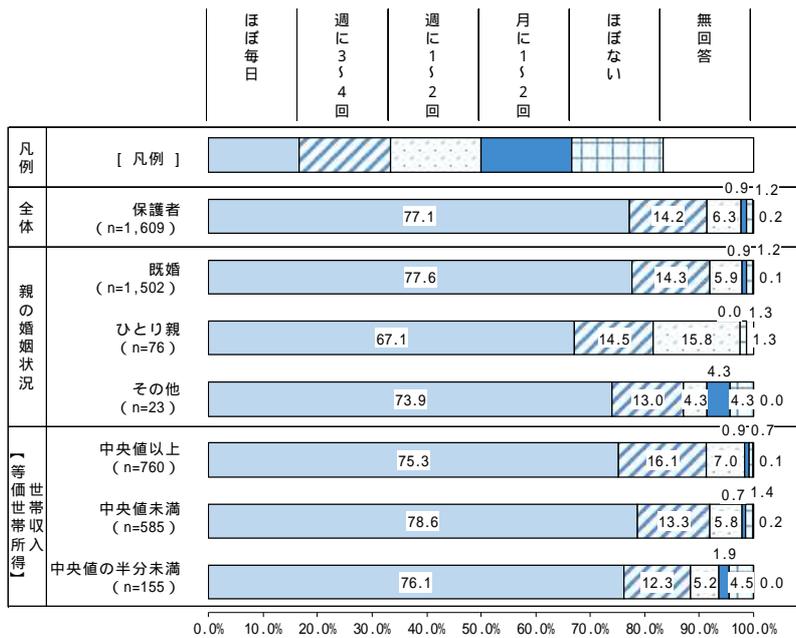
(2)子どもと行う活動の頻度

【一緒に朝食をたべる】(保護者 問 17)



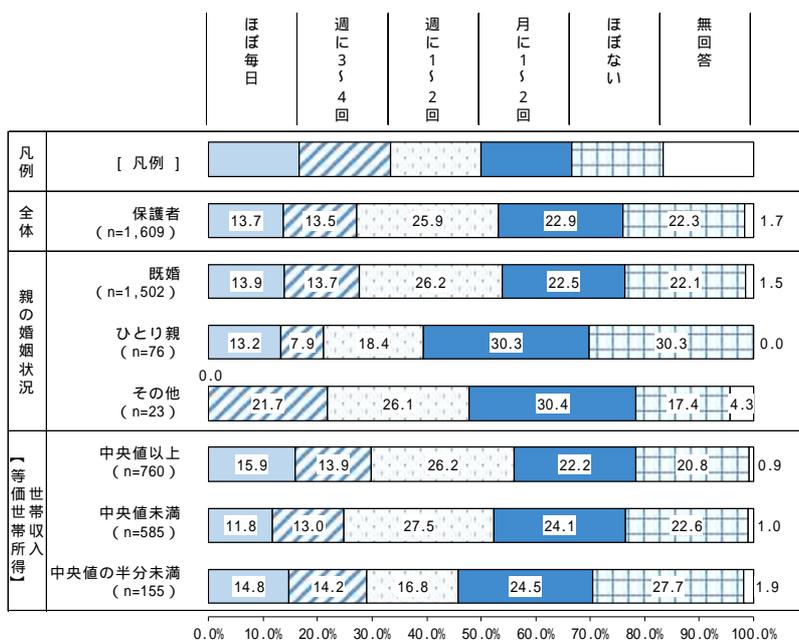
子どもと一緒に朝食をたべる頻度について、「ほぼ毎日」が50.7%で最も高くなっています。一方、「週に1~2回」「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は38.9%となっています。

【一緒に夕食をたべる】(保護者 問 17)



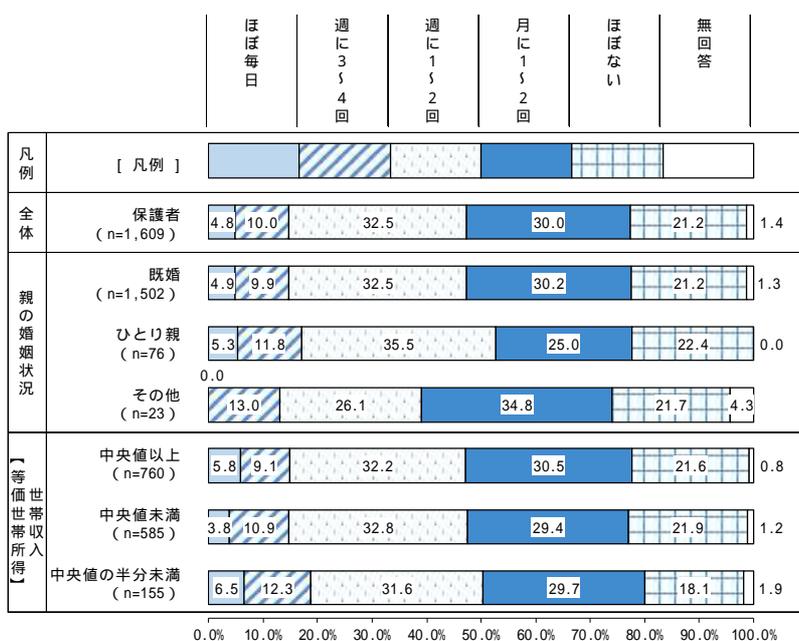
子どもと一緒に夕食をたべる頻度について、「ほぼ毎日」が77.1%で最も高くなっています。一方、「週に1~2回」「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は8.4%となっています。

【勉強をみてあげる】(保護者 問 17)



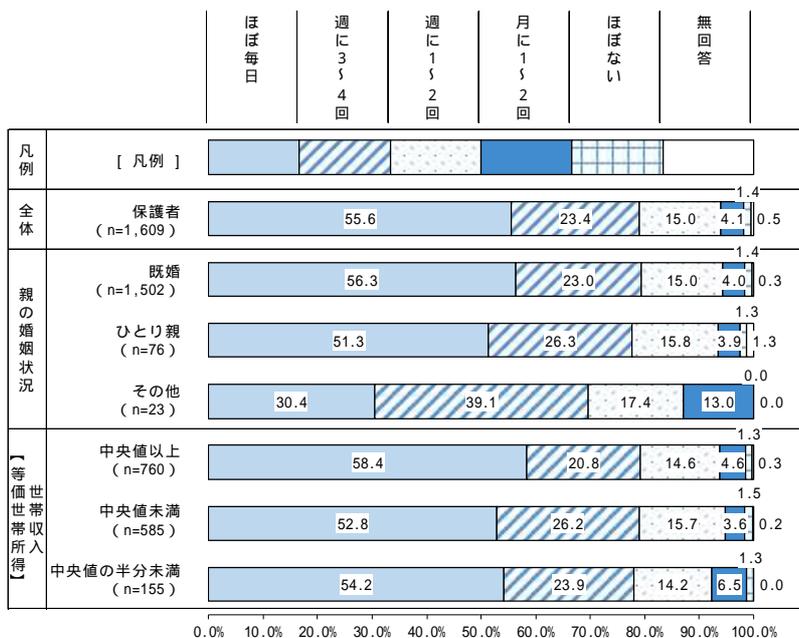
子どもの勉強をみてあげる頻度について、「週に1~2回」が25.9%で最も高くなっています。また、「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は48.8%となっています。

【一緒に遊んだり体を動かしたりする】(保護者 問 17)



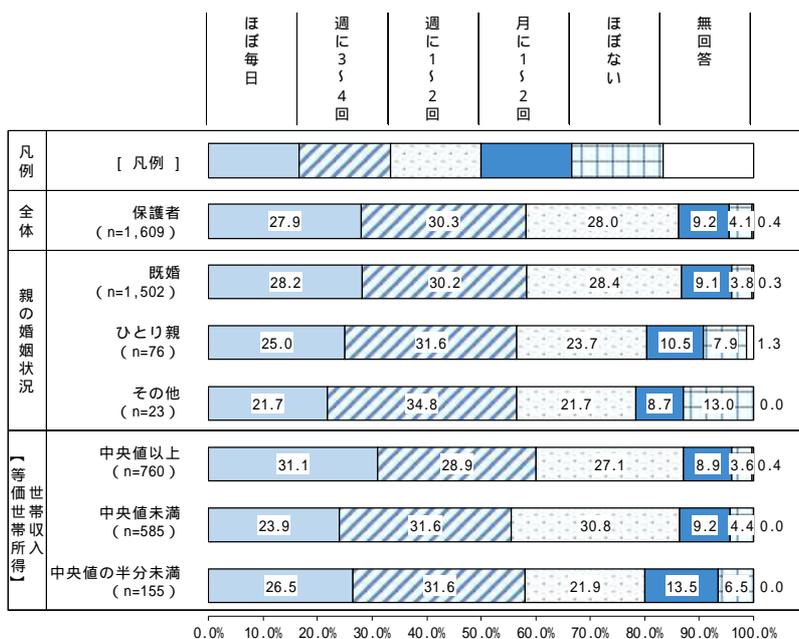
子どもと一緒に遊んだり体を動かしたりする頻度について、「週に3~4回」が32.5%で最も高くなっています。また、「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は51.2%となっています。

【学校生活の話をする】(保護者 問 17)



子どもと学校生活の話をする頻度について、「ほぼ毎日」が55.6%で最も高くなっています。また、「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は19.1%となっています。

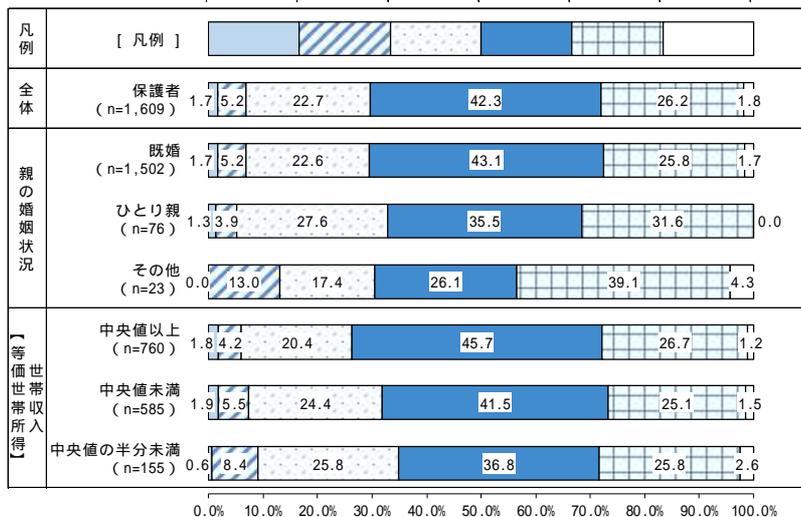
【ニュースなどの社会のできごとについて話す】(保護者 問 17)



子どもとニュースなどの社会のできごとについて話す頻度について、「週に3~4回」が30.3%で最も高くなっています。また、「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は13.3%となっています。

【一緒に料理をする】(保護者 問 17)

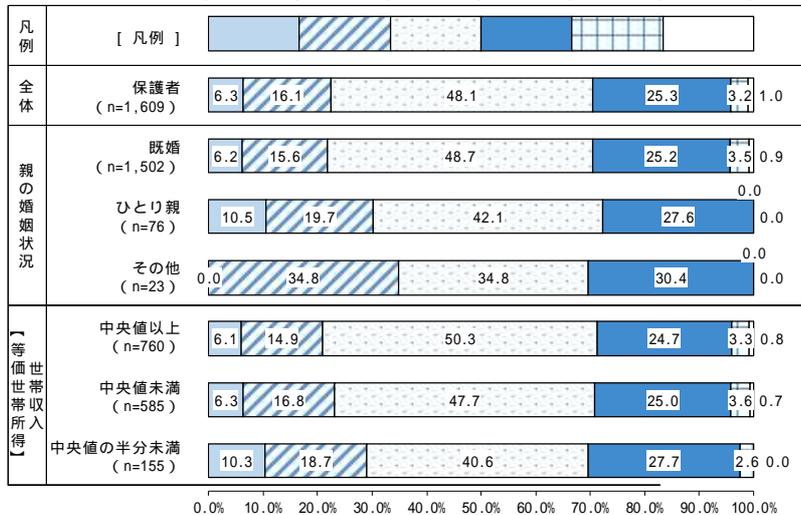
ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	ほぼない	無回答
------	--------	--------	--------	------	-----



子どもと一緒に料理をする頻度について、「月に1~2回」が25.9%で最も高くなっています。次いで、「ほぼない」が26.2%となっています。

【一緒に外出をする(散歩、買い物、外食など)】(保護者 問 17)

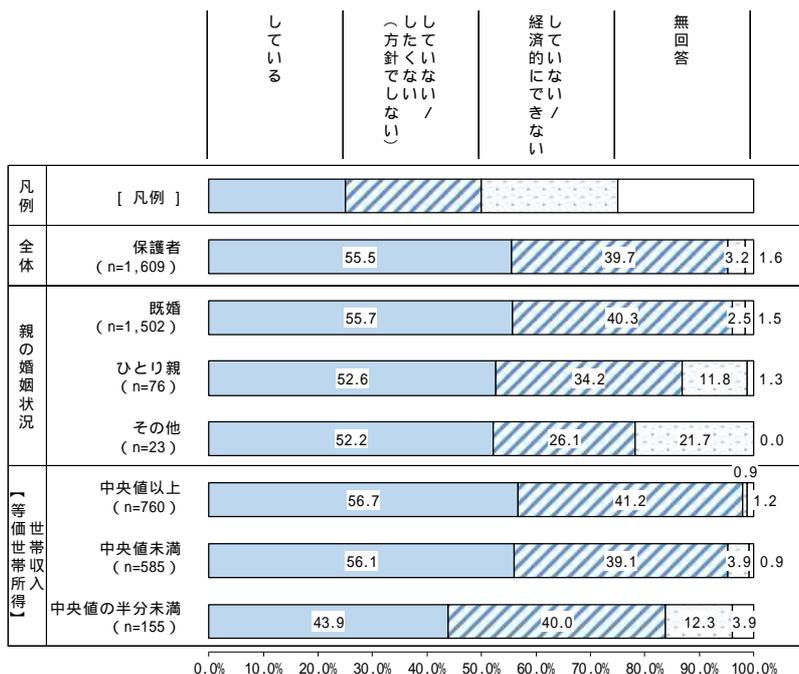
ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	ほぼない	無回答
------	--------	--------	--------	------	-----



子どもと一緒に外出をする頻度について、「週に1~2回」が48.1%で最も高くなっています。また、「月に1~2回」「ほぼない」を合わせた割合は28.5%となっています。

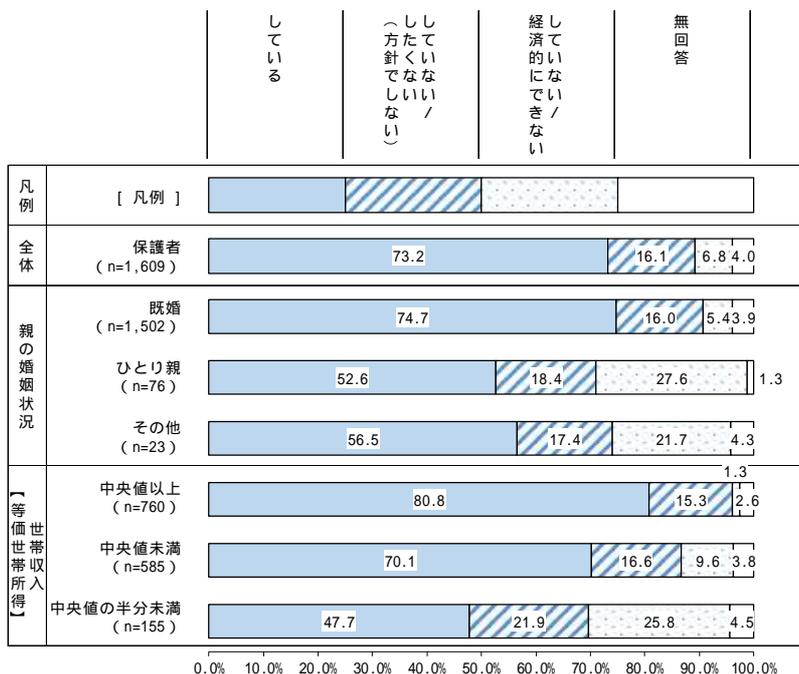
(3)子どものお小遣い、習い事、塾の有無

【毎月お小遣いを渡す】(保護者 問 18)



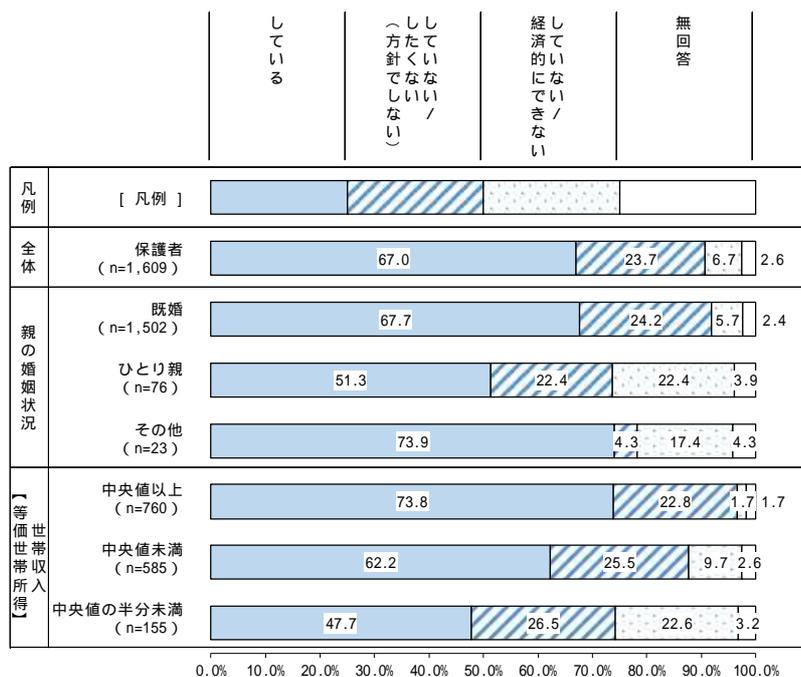
毎月お小遣いを渡すことについて、「している」が55.5%で最も高くなっています。また、「していない/経済的にできない」が3.2%となっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「していない/経済的にできない」が11.8%と、既婚を約10%上回っています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「していない/経済的にできない」が12.3%と、他の区分を上回っています。

【習い事(音楽・スポーツ、習字等)に通わせる】(保護者 問 18)



習い事(音楽・スポーツ、習字等)に通わせることについて、「している」が73.2%で最も高くなっています。また、「していない/経済的にできない」が6.8%となっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「していない/経済的にできない」が27.6%と、既婚を20%以上上回っています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「していない/経済的にできない」が25.8%と、他の区分を10%以上上回っています。

【学習塾に通わせる（家庭教師、通信教育を含む）】
（保護者 問 18）



学習塾に通わせることについて、「している」が67.0%で最も高くなっています。また、「していない / 経済的にできない」が6.7%となっています。

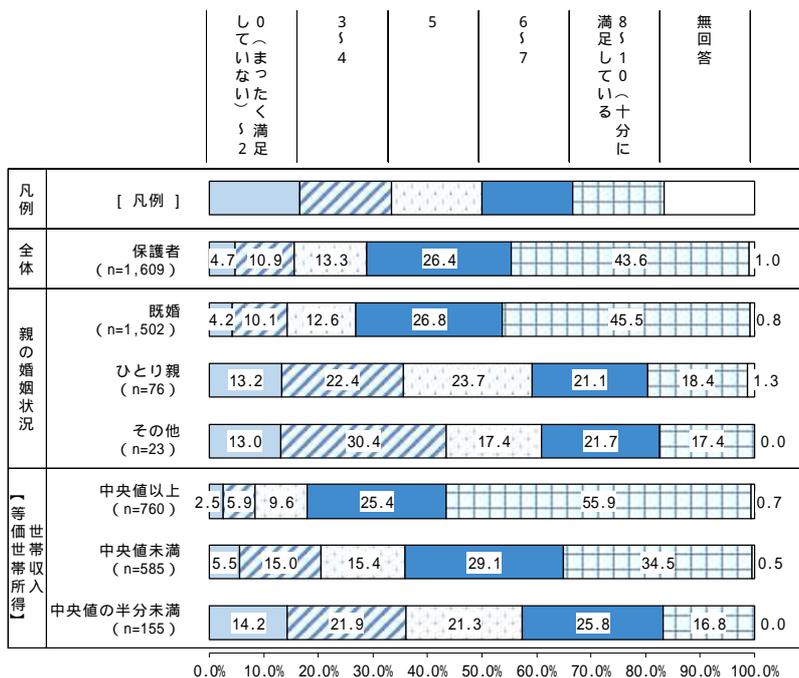
婚姻状況別にみると、ひとり親では「していない / 経済的にできない」が22.4%と、既婚を15%以上上回っています。

世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「していない / 経済的にできない」が22.6%と、他の区分を10%以上上回っています。

4. 生活の満足度、悩みや相談支援について

(1) 生活の満足度

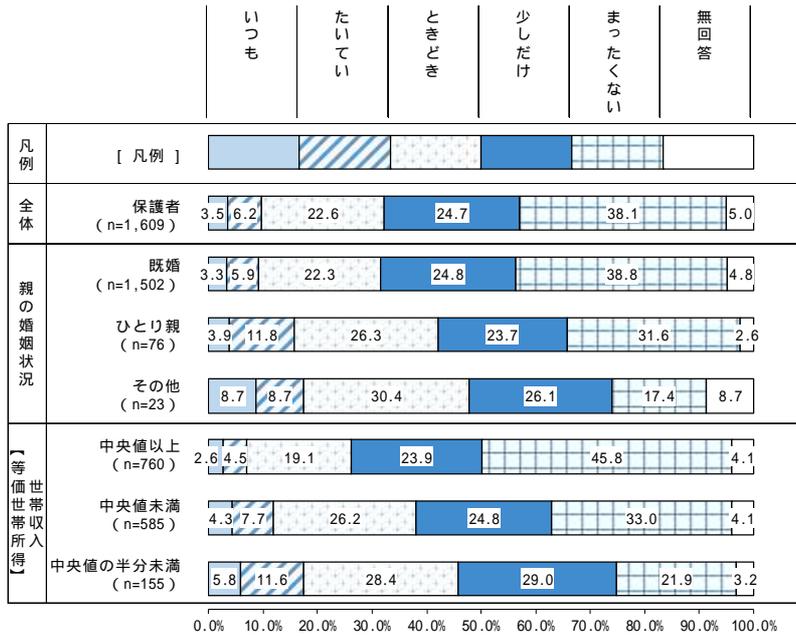
【生活の満足度】(保護者 問 29)



生活の満足度は、「8～10(十分に満足している)」が最も高くなっていますが、小学生の57.3%、中学生の48.4%を下回っています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「0(まったく満足していない)～2」「3～4」が既婚を約10%上回っています。世帯収入別にみると、世帯収入が少ないほど「0(まったく満足していない)～2」の割合が高くなっています。

(2) こころの状態

【神経過敏に感じた】(保護者 問 28)

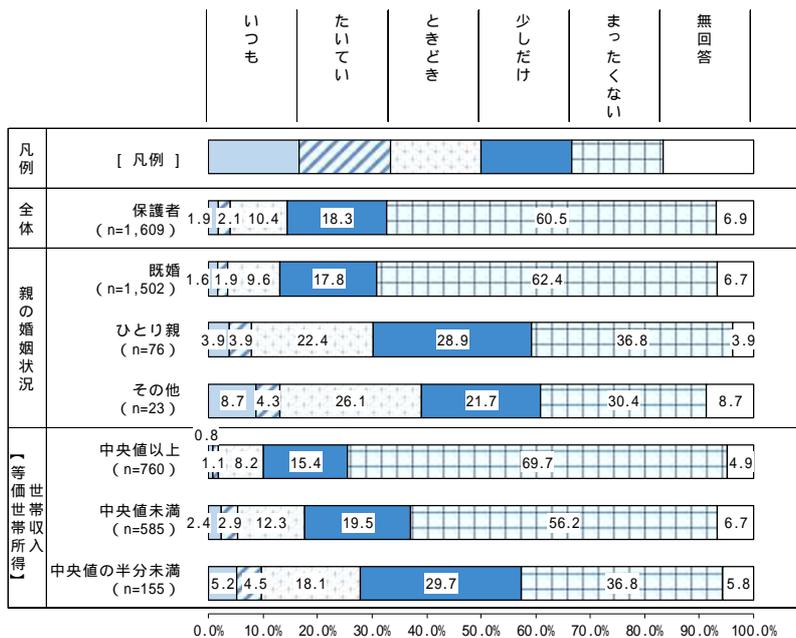


神経過敏に感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて9.7%となっています。また、まったくない」が38.1%で最も高くなっています。

婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて15.7%と、既婚を上回っています。

世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて17.4%と、他の区分を上回っています。

【絶望的だと感じた】(保護者 問 28)

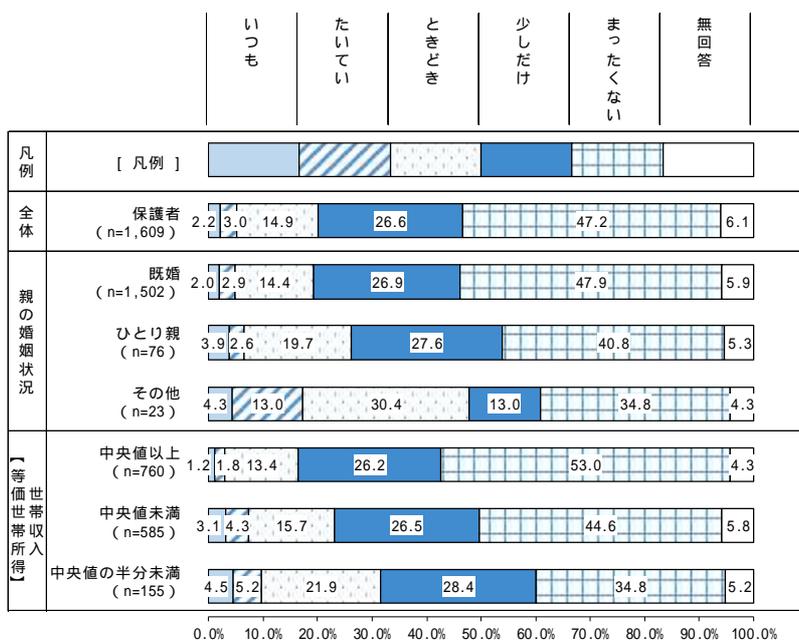


絶望的だと感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて4.0%となっています。また、まったくない」が60.5%で最も高くなっています。

婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて7.8%と、既婚を上回っています。

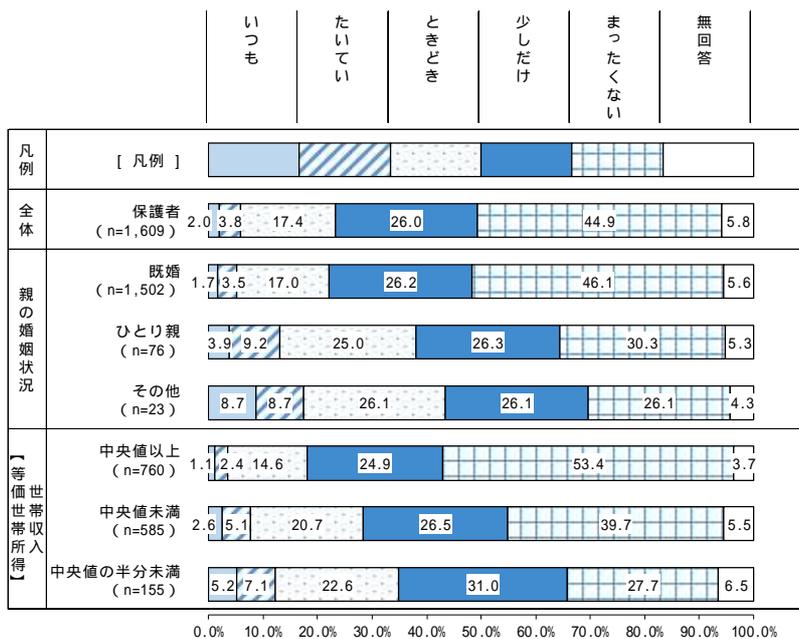
世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて9.7%と、他の区分を上回っています。

【そわそわ、落ち着かなく感じた】(保護者 問 28)



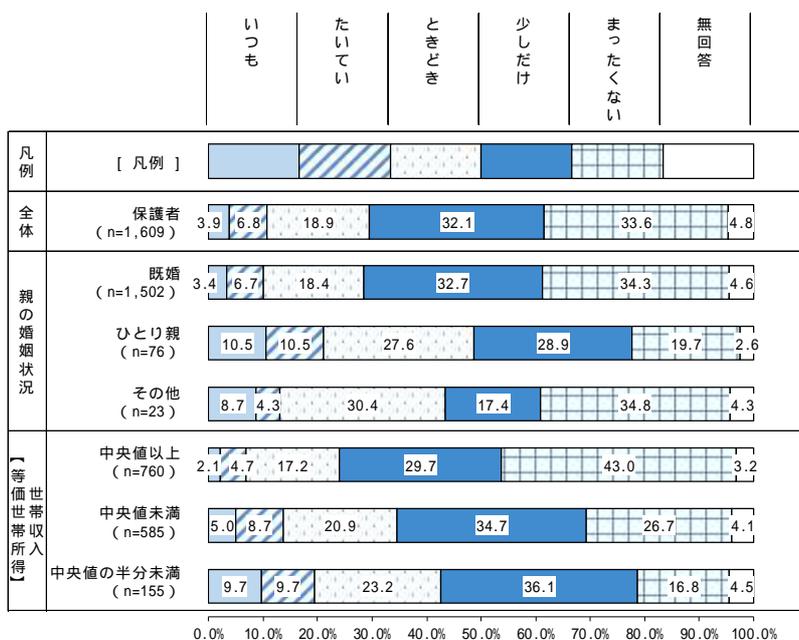
そわそわ、落ち着かなく感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて 5.2%となっています。また、「まったくくない」が 47.2%で最も高くなっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて 6.5%と、既婚を上回っています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて 9.7%と、他の区分を上回っています。

【気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた】(保護者 問 28)



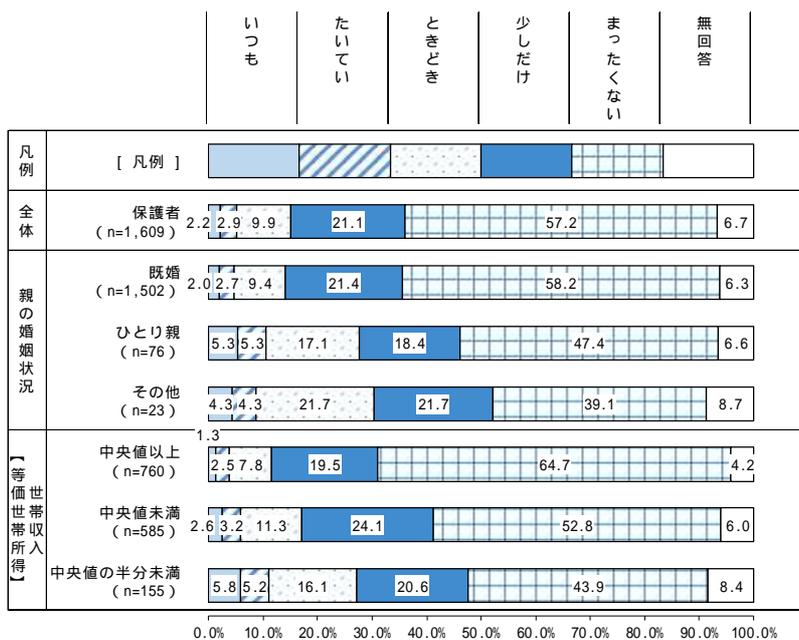
気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて 5.8%となっています。また、「まったくくない」が 44.9%で最も高くなっています。婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて 13.1%と、既婚を上回っています。世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて 12.3%と、他の区分を上回っています。

【何をするのも面倒だと感じた】(保護者 問28)



何をするのも面倒だと感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて10.7%となっています。また、「まったくくない」が33.6%で最も高くなっています。
婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて21.0%と、既婚を上回っています。
世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて19.4%と、他の区分を上回っています。

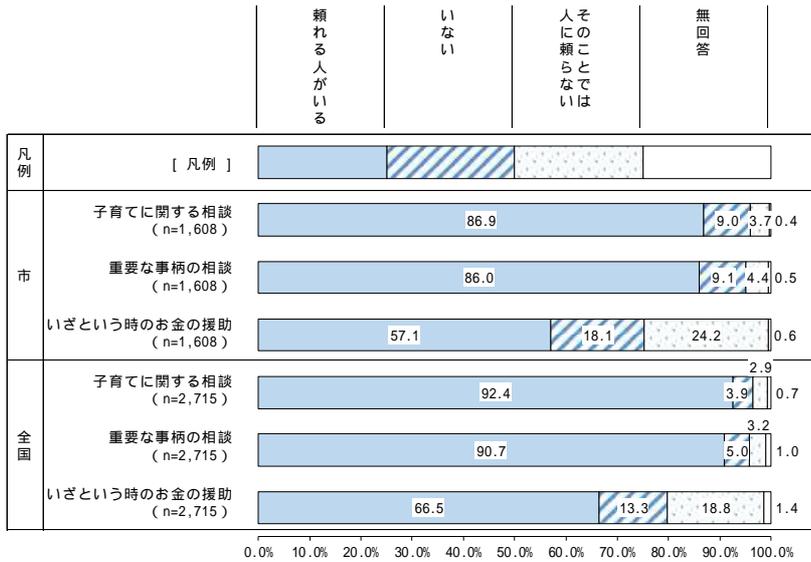
【自分は価値のない人間だと感じた】(保護者 問28)



自分は価値のない人間だと感じた頻度について、「いつも」「たいてい」が合わせて5.1%となっています。また、「まったくくない」が57.2%で最も高くなっています。
婚姻状況別にみると、ひとり親では「いつも」「たいてい」が合わせて10.6%と、既婚を上回っています。
世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「いつも」「たいてい」が合わせて11.0%と、他の区分を上回っています。

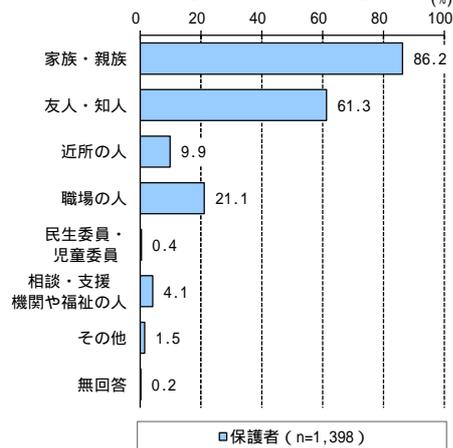
(3)身近な相談支援先

【頼れる人の有無】(保護者 問 22)

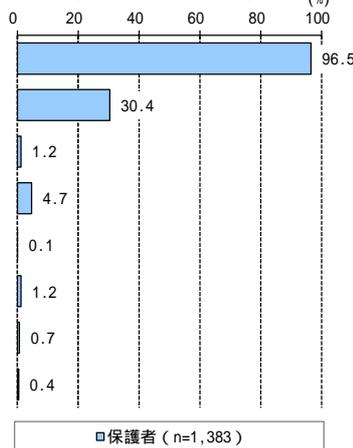


「子育てに関する相談」「重要な事柄の相談」は、いずれも80%を超えています。また、「いざという時のお金の援助」は、頼れる人がいるのは57.1%で、人に頼らないのは24.2%となっています。

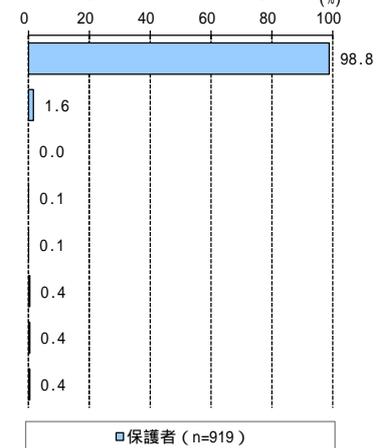
【子育てに関する相談先】(保護者 問 22)



【重要な事柄の相談先】(保護者 問 22)

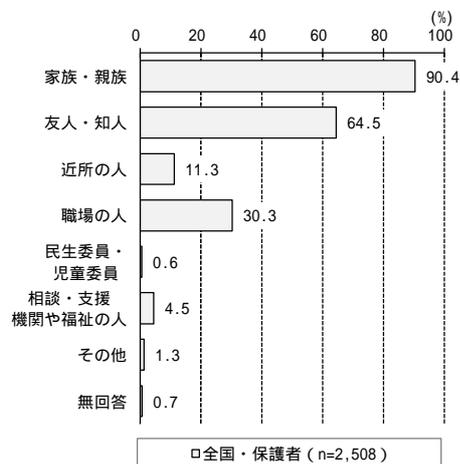


【いざという時のお金の援助先】(保護者 問 22)

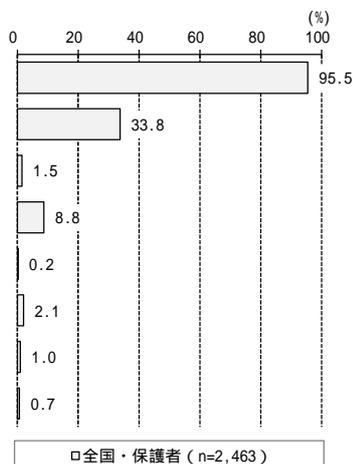


相談先は、いずれも「家族・親戚」が最も高くなっています。また、子育てに関しては「友人・知人」が61.3%、「職場の人」が21.1%となっています。

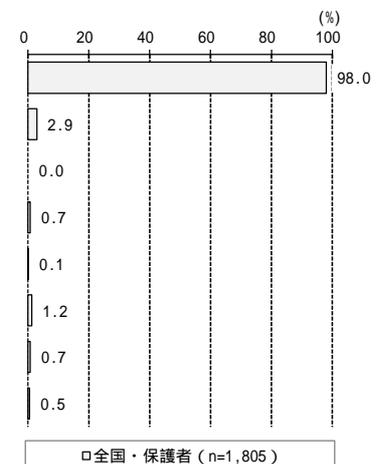
参考 【子育てに関する相談先】



参考 【重要な事柄の相談先】



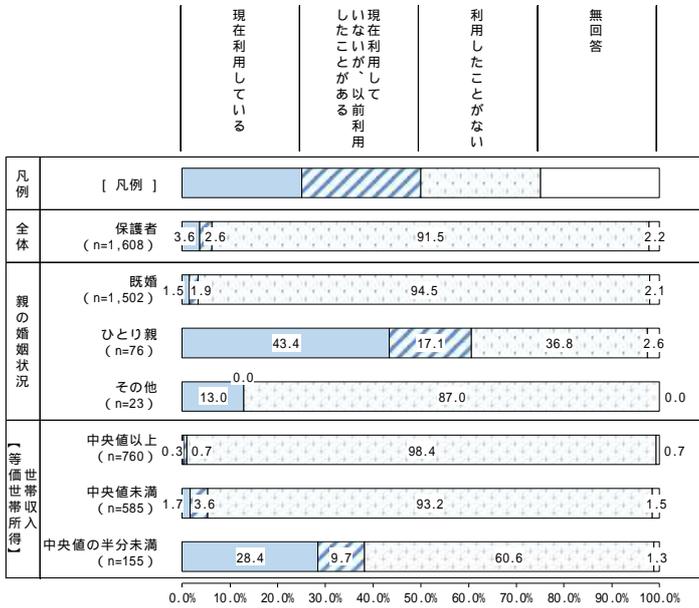
参考 【いざという時のお金の援助先】



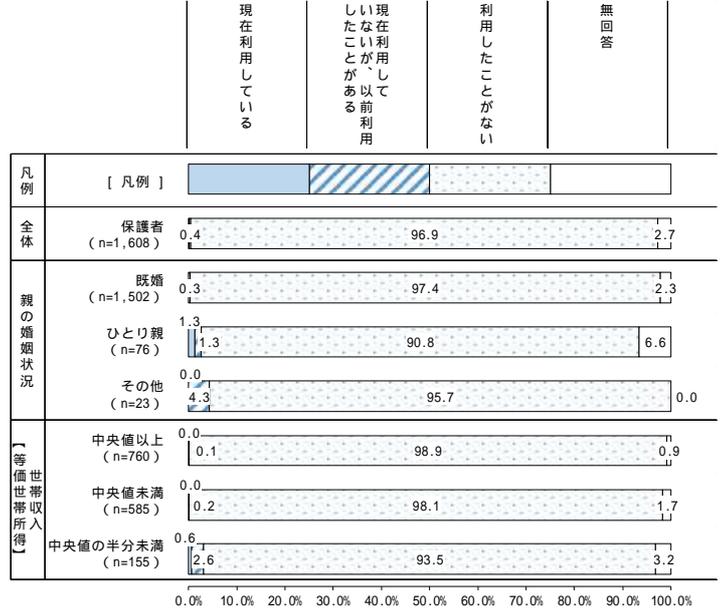
(4) 公的支援制度

公的な支援制度について、就学援助や児童扶養手当では、婚姻状況別のひとり親の約40%や世帯収入別の中央値の半分未満の約25%が「現在利用している」と回答しています。

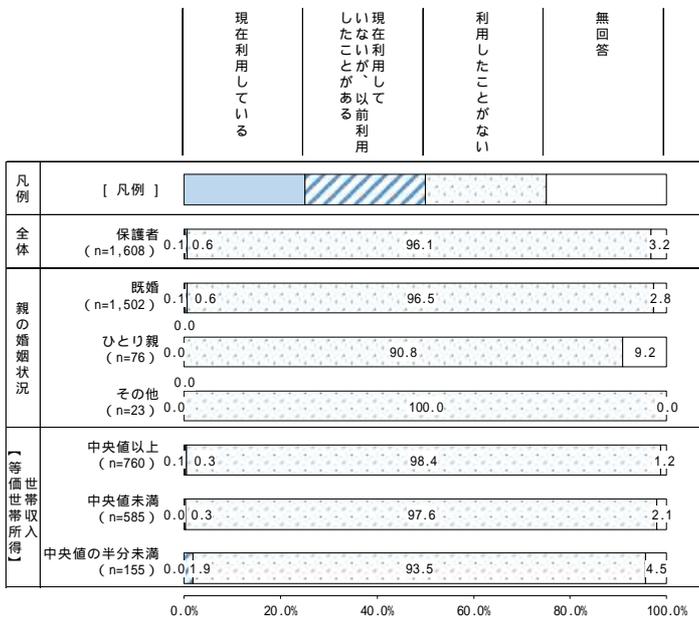
【支援制度の利用】就学援助
(保護者 問 30)



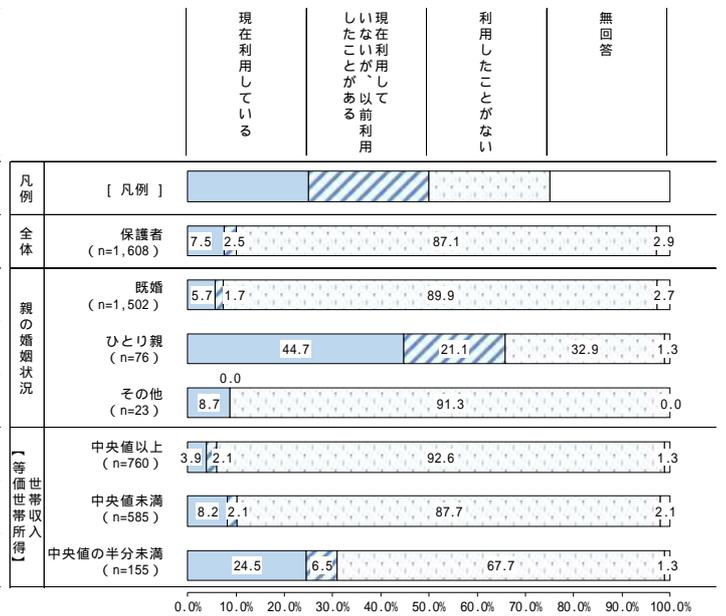
【支援制度の利用】生活保護
(保護者 問 30)



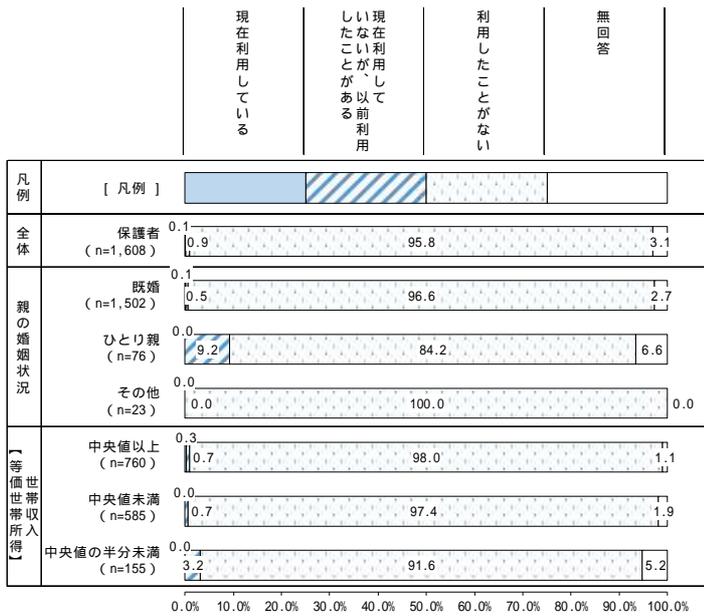
【支援制度の利用】流山市暮らしサポートセンターユースネット
(保護者 問 30)



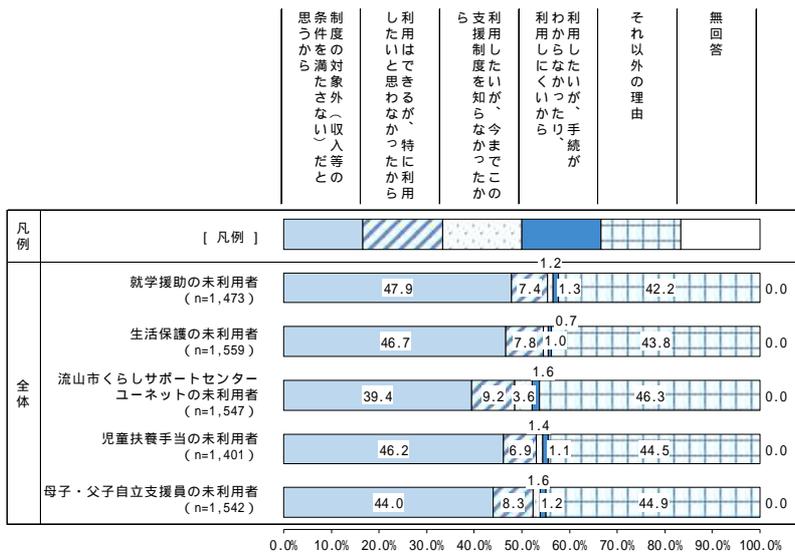
【支援制度の利用】児童扶養手当
(保護者 問 30)



【支援制度の利用】母子・父子自立支援員 (保護者 問 30)



【支援制度を利用しない理由】(保護者 問 30)



支援制度を利用しない理由を制度の未利用者別にみると、いずれも「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思わなかつたから」が最も高くなっています。また、流山市くらしサポートセンター ユーネットの未利用者では「利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから」が9.2%で、他の制度の未利用者に比べて高くなっています。

【現在必要としていることで、重要だと思う支援等】複数回答（保護者 問31）

単位：%

	母数 (n)	問31 重要だと思う支援制度(MA)														無回答		
		を相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	子どもの就学にかかる費用が軽減されること	習い事や学習支援制度	子どもの居場所	食事を無料または低額で提供されること	一時的に必要な資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他		特になし	
保護者	1,609	22.4	13.2	6.5	13.1	10.6	9.8	14.2	56.9	35.7	15.0	6.0	5.7	20.3	2.5	17.7	2.2	
居住学区	北部	214	19.2	14.5	7.5	12.6	10.3	9.3	11.7	66.4	41.1	12.1	8.4	7.5	20.1	0.5	13.6	4.7
	中部	669	24.1	12.9	6.4	13.9	10.2	10.0	13.9	53.5	30.5	14.2	5.7	4.8	18.8	2.5	18.7	2.1
	南部	489	22.5	13.7	6.5	12.7	11.5	10.0	16.2	56.4	33.5	16.6	4.9	6.1	21.7	3.3	19.6	1.0
	東部	230	20.0	11.7	5.7	10.9	8.7	9.1	13.5	59.6	50.9	16.5	7.4	6.1	21.7	2.6	14.8	2.6
親の婚姻状況	既婚	1,502	22.2	13.3	5.7	13.0	10.1	8.9	14.4	56.3	34.3	15.1	5.5	5.5	20.4	2.6	18.6	2.0
	ひとり親	76	23.7	14.5	18.4	15.8	17.1	21.1	13.2	72.4	57.9	15.8	17.1	13.2	18.4	-	3.9	-
	その他	23	34.8	8.7	21.7	8.7	17.4	34.8	4.3	60.9	60.9	8.7	8.7	-	21.7	4.3	4.3	-
世帯収入【等価世帯所得】	中央値以上	760	22.9	12.2	4.6	10.4	8.2	6.2	15.3	49.7	26.7	16.4	4.5	3.3	20.7	3.2	22.5	1.6
	中央値未満	585	23.6	14.9	7.7	14.9	13.2	12.8	15.2	64.8	43.4	13.8	6.8	6.8	21.4	1.2	13.8	0.9
	中央値の半分未満	155	18.1	13.5	14.2	17.4	14.8	16.8	7.7	65.8	54.8	14.2	11.0	15.5	18.1	4.5	10.3	1.9

重要だと思う支援等について、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が56.9%で最も高く、次いで「子どもが受けられる無料または低額の学習支援制度」が35.7%、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が22.4%となっています。

居住学区別にみると、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が北部では66.4%、「子どもが受けられる無料または低額の学習支援制度」が東部では50.9%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」が南部で16.2%、「子どもの居場所」が南部で16.6%、東部で16.5%と、他の地区より高くなっています。

親の婚姻状況別にみると、ひとり親では「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が72.4%、「子どもが受けられる無料または低額の学習支援制度」が57.9%と、他の区分より高くなっています。

世帯収入別にみると、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が中央値未満の2区分でいずれも60%を超え、「子どもが受けられる無料または低額の学習支援制度」が中央値の半分未満で50%を超えています。また、中央値の半分未満では「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」は14.2%で他の区分を5%以上上回り、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」は7.7%で他の区分を5%以上下回っています。

【子育てに関する情報の入手先】複数回答（保護者 問 32）

単位：%

	母数 (n)	問 3.2 子育てに関する情報の入手方法 (MA)																		
		自分の親	配偶者	兄弟姉妹や親戚	友人や知人	近所の人	自治会や民生・ 地域の人の 自治会や民生・ 児童委員な	も園 保育所や幼稚園、 認定こども園、 学校の先生	児童館・ 児童センター や	行政の窓口、 電話相談など	市の 子育て関連 情報誌	その他の冊子、 雑誌など	市 ホームページ	テレビ	S N S や動画サイ ト	その 他のイン ターネッ ト	その 他	特 に ない	無 回 答	
保護者	1,609	31.7	28.5	23.2	73.5	22.2	2.3	22.7	5.9	2.6	8.6	10.1	13.9	28.2	36.2	38.0	2.5	4.2	1.2	
居住学区	北部	214	27.6	26.6	27.6	69.2	17.3	1.9	19.2	5.6	2.3	9.3	8.4	15.9	26.2	30.4	38.3	3.3	6.1	2.3
	中部	669	32.6	29.1	22.4	75.2	23.3	2.5	22.3	4.8	2.8	8.7	12.6	13.6	28.8	36.9	38.7	2.7	4.0	1.0
	南部	489	32.3	27.8	22.3	72.6	23.7	2.5	23.7	6.7	2.0	8.4	7.6	14.5	29.4	38.0	37.6	2.0	3.7	0.6
	東部	230	30.9	29.6	23.0	74.3	19.6	1.7	24.3	7.4	3.5	7.8	10.0	11.3	25.2	35.7	35.7	2.2	3.9	2.2
親の婚姻状況	既婚	1,502	31.3	30.4	23.5	74.5	23.2	2.3	23.6	6.2	2.5	8.5	10.3	14.0	28.8	36.2	38.1	2.5	4.1	1.0
	ひとり親	76	39.5	-	17.1	64.5	6.6	1.3	15.8	2.6	5.3	10.5	6.6	11.8	22.4	38.2	36.8	2.6	2.6	-
	その他	23	43.5	13.0	26.1	56.5	17.4	4.3	-	-	4.3	8.7	8.7	21.7	17.4	34.8	39.1	-	8.7	-
世帯収入 【等価世帯所得】	中央値以上	760	32.8	32.8	23.0	75.7	23.7	3.0	22.6	5.9	2.9	9.1	11.2	16.2	27.6	37.6	41.4	3.0	4.3	0.4
	中央値未満	585	30.6	25.1	24.8	74.4	23.6	1.5	25.1	7.4	2.4	8.4	10.8	12.5	30.9	37.9	35.7	1.5	4.1	0.5
	中央値の半分未満	155	32.3	20.6	20.0	65.2	13.5	2.6	18.1	3.2	3.2	9.0	3.2	11.0	24.5	30.3	29.0	3.2	4.5	1.3

子育てに関する情報の入手先について、「友人や知人」が73.5%で最も高く、次いで「その他のインターネット」が38.0%、「SNSや動画サイト」が36.2%となっています。

居住学区別にみると、北部では「近所の人」「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」「SNSや動画サイト」で、他の地区より低い傾向がみられます。

親の婚姻状況別にみると、ひとり親では既婚に比べて「自分の親」が5%以上高く、「友人や知人」「近所の人」「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」「テレビ」が5%以上低くなっています。

世帯収入別にみると、中央値の半分未満では「友人や知人」「近所の人」「その他の冊子、雑誌など」「SNSや動画サイト」「その他のインターネット」で他の区分を5%以上下回っています。